

第35回県民スポーツ祭

群馬県障害者スポーツ大会2018

実施要綱・競技別実施要領・申込書類一式

群馬県障害者スポーツ協会

目 次

○第35回県民スポーツ祭	
群馬県障害者スポーツ大会2018 実施要綱	1
○第35回県民スポーツ祭	
群馬県障害者スポーツ大会2018 競技別実施要領	3
・陸上競技（身体障害の部）	4
・陸上競技（知的障害の部）	6
・水泳競技	8
・卓球競技	9
・フライングディスク競技	10
・ボウリング競技	13
・アーチェリー競技	15
・フットベースボール競技	16
・バスケットボール競技	20
・ソフトボール競技	21
・サッカー競技	22
・バレーボール競技	23
○第35回県民スポーツ祭	
群馬県障害者スポーツ大会2018 参加申込要領	24
○群馬県障害者スポーツ大会 競技・種目表	26
○障害区分早見表（身体障害の部）	
・アーチェリー競技	28
・陸上競技	29
・水泳競技	30
・卓球競技	31
○競技別申込書	32
・陸上競技参加申込書（個人申込用）	33
・陸上競技参加申込書（団体申込用）	34
・水泳競技参加申込書（個人申込用）	36
・水泳競技参加申込書（団体申込用）	37
・卓球競技参加申込書（個人申込用）	39
・卓球競技参加申込書（団体申込用）	40
・フライングディスク競技参加申込書（個人申込用）	42
・フライングディスク競技参加申込書（団体申込用）	43
・ボウリング競技参加申込書（個人申込用）	45
・ボウリング競技参加申込書（団体申込用）	46
・アーチェリー競技参加申込書（個人申込書）	48
・アーチェリー競技参加申込書（団体申込書）	49
・団体競技（知的障害の部）参加申込書	50
・バレーボール競技参加申込書	52

第35回 県民スポーツ祭 群馬県障害者スポーツ大会2018 兼 第19回 全国障害者スポーツ大会「いきいき茨城ゆめ大会」選考会 実施要綱

1 開催趣旨

障害者が本大会を通じて参加者等と交流を深めながら、スポーツの楽しさを体験するとともに、県民の障害者に対する理解を深め、障害者の社会参加を促進することを目的として開催する。

2 主催

群馬県、群馬県障害者スポーツ協会

3 主管

(社福)群馬県社会福祉事業団、(公財)群馬県スポーツ協会、群馬県精神保健福祉協会、(一財)群馬陸上競技協会・群馬県障がい者陸上競技協会、群馬県水泳連盟、群馬県卓球協会、群馬県ボウリング連盟、群馬県障害者フライングディスク協会、群馬県ソフトボール協会、群馬県フットベースボール協会、(公社)群馬県サッカー協会、(一財)群馬県バスケットボール協会、群馬県アーチェリー協会、群馬県障がい者スポーツ指導者協議会、群馬県ソフトバレーボール連盟

4 後援

群馬県教育委員会、群馬県市長会、群馬県町村会、(社福)群馬県社会福祉協議会、(公社)群馬県身体障害者福祉団体連合会、(一社)群馬県手をつなぐ育成会、(公社)群馬県知的障害者福祉協会、群馬県特別支援学校長会、群馬県スポーツ推進委員協議会、群馬県レクリエーション協会、日本精神科病院協会群馬県支部、日本精神科看護協会群馬県支部、群馬県精神障害者社会復帰協議会、群馬県精神障害者家族会連合会、日本赤十字社群馬県支部、上毛新聞社、朝日新聞前橋総局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、群馬テレビ、FM GUNMA

5 協力

群馬県特別支援学校体育研究会、群馬県手話通訳派遣事務所、群馬県手話サークル連絡会 群馬県立しろがね学園、群馬県立しろがね特別支援学校、群馬医療福祉大学
日本エアータック株式会社群馬工場、(株)雨宮製作所、群馬県社会就労センター協議会

6 開始式

各競技実施日には、各競技ごとに開始式を行う。

7 競技

身体障害者	知的障害者	精神障害者
【個人競技】 陸上競技 水泳・卓球 アーチェリー フライングディスク ボッチャ（オープン競技）	【個人競技】 陸上競技 デモンストレーション 水泳・卓球・ボウリング フライングディスク	【個人競技】 卓球
	【団体競技】 ソフトボール フットベースボール サッカー バスケットボール	【団体競技】 バレーボール

8 競技日程及び会場

7月26日(木) …	バレーボール	(精神障害) …	ALSOK ぐんま総合スポーツセンター
8月18日(土) …	ボウリング	(知的障害) …	パークレーン高崎
8月25日(土) …	卓球	(知的・身体・精神) …	群馬県立ふれあいスポーツプラザ
8月26日(日) …	ソフトボール	(知的障害) …	前橋市北部運動場
9月2日(日) …	フライングディスク	(身体障害・知的障害) …	群馬県立ふれあいスポーツプラザ
9月8日(土) …	アーチェリー	(身体障害) …	同 上
9月16日(日) …	陸上競技	(身体障害・知的障害) …	同 上
	デモンストレーション	(知的障害) …	同 上
9月24日(月) …	陸上競技	(身体障害・知的障害) …	群馬県立ふれあいスポーツプラザ
(16日の予備日)	デモンストレーション	(知的障害) …	同 上
	ボッチャ	(身体障害) …	同 上
	※ボッチャはオープン競技		
9月28日(金) …	フットベースボール	(知的障害) …	前橋市桃ノ木川グラウンド
9月29日(土) …	サッカー	(知的障害) …	伊勢崎市あずまサッカースタジアム
9月30日(日) …	水泳	(身体障害・知的障害) …	群馬県立ふれあいスポーツプラザ
10月8日(月) …	バスケットボール	(知的障害) …	群馬県立ふれあいスポーツプラザ 群馬県立しろがね学園・群馬県立しろがね特別支援学校

9 参加資格

参加できる選手は、身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条の規定により身体障害者手帳の交付を受けた者、知的障害者又は精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者若しくはその取得の対象に準じる障害のある者で、次の各号のすべてに該当する者とする。なお、障害の程度は問わない。

(1) 年齢

- ・身体障害者：小学校1年生以上の者。
軽スポーツ以外の全競技については、肢体障害、視覚障害、聴覚障害又は内部障害（ぼうこう又は直腸機能障害）を有する者に限る。
- ・知的障害者：個人競技は小学校1年生以上の者。
ただし、陸上競技の800m走及び1500m走は中学校1年生以上の者とする。団体競技については中学校1年生以上の者とする。
- ・精神障害者：中学校1年生以上の者。

(2) 住所等

県内に現住所を有する者、県内に所在する施設に通所・入所している者、又は県内に通勤・通学する者。

10 第19回全国障害者スポーツ大会（以下「全国大会」という。）に参加をする場合

県大会2018を平成31年10月12日（土）から14日（月）に開催される「第19回全国障害者スポーツ大会（いきいき茨城ゆめ大会）」の選考会と位置づけ開催する。第19回全国大会への出場を希望する者は、県大会2018に出場する。

11 表彰及び競技の実施方法

各競技の実施要領による。

12 参加申込

参加希望者は、別に定める申込書により、申込期限までに申し込むこと。

群馬県障害者スポーツ大会2018

競技別実施要領

陸上競技実施要領（身体障害の部）

1. 競技規則

公益財団法人日本障害者スポーツ協会「全国障害者スポーツ大会競技規則集」及び本大会申合せ事項による。

2. 招 集

(1) 選手の招集は次のとおりとする。

①選手は、招集時刻までに現地に集合し、競技役員の点呼を受ける。点呼の際は、ユニフォームのナンバーカードの確認を受ける。ただし、本人が他の競技に出場しているため、招集時刻に点呼を受けることができない場合は、代理人が代わって点呼を受け、その指示に従う。なお、その時点において競技が終了していた場合は棄権とみなす。

②招集時刻は原則として、トラック・フィールド競技共に各組競技開始15分前とする。ただし、トラック種目のうち競技組数の多いものについては、待ち時間を少なくしたり、疲れを軽減するため、随時招集のための放送を入れる等の処置を行う。

③選手招集場所への移動は、競技の邪魔にならないようにトラックの外側を通行すること。

3. 入退場

(1) 競技場への入退場は、係の指示に従う。

(2) 競技が終了した選手は、係員の指示により表彰所まで移動し、表彰を受ける。

(3) 介助が必要な選手の場合は選手1名につき介助者1名と一緒に入場を認める。

(4) 競技場内での誘導は競技補助員が行う。

4. 競技方法

(1) セパレートレーンで行う車椅子競走の走路の幅は、1 m 2 5 cm（1レーン分）とする。

(2) 視覚障害者50 m競走、100 m競走は、トラックで行う。コーラーは競技役員が行い、その他のコーラーは認めない。

(3) 視覚障害者の立幅跳、視力0、光覚・手動・指数（0.01未満）の投てきについては、競技役員が方向を指示する。音源は、所定のものを使用する。

(4) スラロームで使用する旗門は、原則として全国大会で使用するものと同等のものを使用する。

【トラック競技】

(1) スタート

①スタートライン、またはその前方に手をつけてはならない。ただし、厳密ではない。

②スタート姿勢は自由とする。

③フライングを2回した場合は降着（最下位）とする。（極端なものを除いて適用しない。）

④スターティングブロックは使用してもよい。

(2) セパレートレーン（1 m 2 5 cm）

セパレートレーンで行う競技種目は、50 m、100 m、200 m、400 mとする。車椅子競技も同様とする。

(3) インターフェア

①故意に他のレーンに侵入し、他の競技者の妨害をした場合は降着（最下位）とする。

②200m、400mのセパレートレーンでは大きくレーンを外れた場合は降着（最下位）とする。ただし、直線種目においては他に影響しないときは有効とする。

③選手に有利にならない限り、厳密に適用しない。

【フィールド競技】

(1) 立幅跳

①選手は、両足で踏切をしなければならない。

②試技開始時に選手の爪先は踏切線の後にななければならない。

③地面を離れる瞬間は、選手は両足踏切をしなければならない。

④試技は連続2回としプログラム順に跳び、その最長距離で、順位を決める。

⑤跳躍距離は、腕や手を含む身体の一部が、接地した位置を踏切線から計測する。

⑥試合前の練習は1回とする。

(2) 走幅跳

①試技は2回とし、プログラム順に跳び、その最長距離で、順位を決める。

②目印としての踏切板は設けるが、記録は実測とする。

③試合前の練習は1回とする。

(3) 走高跳

①片足で踏み切ること。

②パスは原則として採用しない。

③試合前の練習は1回とする。

④バーの上げ方は、審判団において決定する。

(4) 投てき

- ①ソフトボールは3号球を使用する。
- ②投球フォームは自由とする。
- ③プログラム順に投げる。
- ④試技は連続2回としプログラム順に投げ、その最長距離で、順位を決める。
- ⑤試合前の練習は1回とする。
- ⑥距離の測定は弧の中心より実測する。

5. その他

- (1) 競技を行うときは、競技のできる服装を着用する。
- (2) ナンバーカード（主催者が事前に配布する）は、上着の胸部及び背部にしっかりと貼り付けること。
- (3) スパイクシューズは、オールウェザー保護のためピンの長さ7mm以下とする。
- (4) 補装具の使用は可とする。
- (5) 競技者は競技中原則として助力を受けてはならない。ただし、特に介助を必要とする選手は申し出ること。
- (6) 競技場内へは、競技役員、補助員、大会役員、選手及び付添者以外立ち入ることはできない。
- (7) 体調管理に気をつけて競技に臨むこと。
- (8) 各競技の招集時間を確認し遅れずに招集場所へ行くこと。
- (9) 大会当日、不明な点は競技本部に問い合わせること。

陸上競技実施要領（知的障害の部）

1. 競技規則

公益財団法人日本障害者スポーツ協会「全国障害者スポーツ大会競技規則集」及び本大会申合せ事項による。

2. 招集

(1) 選手の招集は次のとおりとする。

- ①選手は、招集時刻までに現地に集合し、競技役員の点呼を受ける。点呼の際は、ユニフォームのナンバーカード（ゼッケン）等の確認を受ける。ただし、本人が他の競技に出場しているため、招集時刻に点呼を受けることができない場合は、代理人が代わって点呼を受け、その指示に従う。なお、その時点において競技が終了していた場合は棄権とみなす。
- ②招集時刻は原則として、トラック・フィールド競技共に各組競技開始15分前とする。ただしトラック種目のうち競技組数の多いものについては、待ち時間を少なくしたり、疲れを軽減するため、随時招集のための放送を入れる等の処置を行う。
- ③リレー競技に出場するチームは、競技開始1時間前までにオーダー（走順）を本部に提出すること。
- ④選手招集場所への移動は、競技の邪魔にならないようにトラックの外側を通行すること。

3 入退場

(1) 競技場への入退場は、係の指示に従う。

(2) 競技が終了した選手は、係員の指示により表彰所まで移動し、表彰を受ける。

4. 競技方法

【トラック競技】

(1) スタート

- ①スタートライン、またはその前方に手をつけてはならない。ただし、厳密ではない。
 - ②スタート姿勢は自由。
 - ③フライングを2回した場合は降着（最下位）とする。（極端なものを除いて適用しない。）
- スターティングブロックは使用してもよい。

(2) インターフェアアー

- ①故意に他のコースに侵入し、他の競技者の妨害をした場合は降着（最下位）とする。
- ②200m、400mのセパレートコースでは大きくコースを外れた場合は降着（最下位）とする。ただし、直線では他に影響しないときは有効とする。
- ③選手に有利にならない限り、厳密に適用しない。

(3) セパレートコース

50m、100m、200m、400m、400mリレーはセパレートコースで行う。

(4) リレー

- ①バトンゾーンを設け、ゾーン内での受け渡しを原則とする。
- ②バトンを渡し終わった選手は他の選手に影響を与えないためにコース内に留まり、審判員の指示に従うこと。

【フィールド競技】

(1) 立幅跳

- ①選手は、両足で踏切をしなければならない。
- ②試技開始時に選手の爪先は踏切線の後になければならない。
- ③地面を離れる瞬間は、選手は両足踏切をしなければならない。
- ④試技は連続2回としプログラム順に跳び、その最長距離で、順位を決める。
- ⑤跳躍距離は、腕や手を含む身体の一部が、接地した位置を踏切線から計測する。
- ⑥試合前の練習は1回とする。

(2) 走幅跳

- ①試技は2回とし、プログラム順に跳び、その最長距離で、順位を決める。
- ②目印としての踏切板は設けるが、記録は実測とする。
- ③試合前の練習は1回とする。

(3) 走高跳

- ①片足で踏み切ること。
- ②パスは原則として採用しない。
- ③試合前の練習は1回とする。
- ④バーの上げ方は、審判団において決定する。

(4) ソフトボール投

- ①ソフトボールは3号球を使用する。
- ②投球フォームを自由とする。
- ③プログラム順に投げる。
- ④試技は連続2回としプログラム順に投げ、その最長距離で、順位を決める。
- ⑤試合前の練習は1回とする。

6. その他

- (1) 競技を行うときは、競技ができる服装を着用する。
- (2) ナンバーカード（主催者が事前に配布する）は胸・背部の両面にしっかりと貼り付けること。
- (3) スパイクシューズを使用してもよい、その場合はピンの長さが7mm以下とする。
- (4) 補装具の使用は可とする。
- (5) 競技者は競技中、原則として助力を受けてはならない。ただし、特に介助を必要とする選手は申し出ること。
- (6) 競技場内へは、競技役員、補助員、大会役員、選手及び付添者以外立ち入ることはできない。
- (7) 大会当日、不明な点は競技本部に問い合わせること。

水泳競技実施要項

1 競技規則

平成30年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本障害者スポーツ協会制定）及び公益財団法人日本水泳連盟制定「競泳競技規則」によるもののほか、この要領の定めるところによる。
※肢体不自由者の部は、障害程度により泳法の規則を緩和することがある。

知的障害者の部は、公益財団法人日本水泳連盟制定「競泳競技規則」に準じて行う。

2 競技方法

(1) 招集

- ・招集は、プールサイドで行う。係員の指示に従うこと。
- ・招集は、出場する競技開始30分前から開始する。10分前までに完了すること。
- ・招集に遅れた選手は、棄権したものとみなす。
- ・競技時間は、進行の状況により変更する場合があるので、放送・掲示板等に十分注意し招集に遅れないようにすること。
- ・選手は、招集時に主催者が用意したIDカードを必ず携帯すること。
- ・IDカードは主催者が当日配布する。

(2) リレーオーダー用紙の提出

- ・リレーオーダー用紙は、その種目が行われる60分前まで招集場所に提出すると。

(3) 選手紹介

- ・競技前の選手紹介の際は、椅子から立って紹介を受ける。
ただし、車椅子使用者及び立つことの困難な選手は、座ったまま片方の手を挙げ紹介を受ける。

(4) 介助

- ・選手に対する介助等については、原則として許可された者がこととする。
なお、介助を希望する者は、招集にて介助申請を行い「介助許可証(ビブス)」をつけて行うこと。
- ・視覚障害者(区分23)の選手はゴール及びターンに「合図棒」による合図が義務付けられている。
選手本人が合図人を確保できない倍名は、招集にその旨を伝え競技役員等に依頼すること。

(5) 誘導

- ・競技場内での誘導は、競技役員及び競技補助員が行う。なお、許可を受けた介助者がいる場合は、競技役員の指示に従う。

(6) 出発合図

- ・出発合図は、閃光・電子音装置を使用する。

(7) 計時

- ・記録の計時は手動式とする。

3 表彰

- (1) 入賞者の表彰は、各競技終了後直ちに行う。
- (2) オープン参加者には敢闘賞を授与する。

4 撮影

- (1) 写真・ビデオの撮影は許可制とする。撮影を希望する者は申請し、許可を得ること。
- (2) 介助者によるプールサイドでの撮影は禁止する。
- (3) スタート時のフラッシュ撮影は禁止する。

5 更衣

- (1) 更衣は更衣室を利用すること。

6 その他

- (1) 会場の秩序については審判長の指示に従うこと。
- (2) 会場内の事故防止には十分注意すること
- (3) プールサイドにおけるコーチ・応援は禁止とする。
- (4) 貴重品については、各自責任を持って管理すること。
- (5) 土足厳禁の区域制限を守ること。
- (6) 競技場内へ食物の持込を禁止する。
- (7) 選手の休憩場所は、指定された場所を利用すること。
- (8) ゴミは各自持ち帰ること。
- (9) 荒天時他不測の事態が生じた場合の取り扱いは、主催者において別途定める。

卓球競技実施要領

1 競技方法

競技規則は、(公財)日本卓球協会試合規則及び(公財)日本障がい者スポーツ協会編「全国障害者スポーツ大会競技規則」に準ずる。

(1) 知的障害者の部

- ア 試合は全てシングルとし、各年齢層別、組合せ毎にリーグ戦方式とする。
- イ ナンバーカード(ゼッケン)は、主催者が事前に配布したものを背部にしっかりと付けること。

(2) 身体障害者の部

- ア 試合は全てシングルとし、各障害区分ごとにトーナメント方式で実施する。
- イ 3位決定戦は行わない。(3位は2人とする。)
- ウ サウンドテーブルテニスに出場する選手のアイマスクは、主催者が用意したものを着用すること。
- エ 下肢障害者で義肢、松葉杖等を使用する者は、特に支障のない限り、接触面にあてがう布、カバー等をあらかじめ用意すること。

(3) 共通項目

- ア 試合は5ゲームス・マッチとし、3ゲームを先取した方を勝ちとする。
- イ 1ゲームは11点を先取した方を勝ちとするが、10オール(10対10)になった時は、同得点の後2点連続先取した方を勝ちとする。
- ウ サウンドテーブルテニスは、5ゲーム形式とし、3ゲームを先取した方を勝ちとする。ただし1ゲーム11点を先取した方を勝ちとするが、10オール(10対10)になった時は、同得点の後2点連続先取した方を勝ちとする。
- エ 試合球は、硬式球(白色)を使用する。
- オ 普通のサーブが困難な選手に限り、サーブは板面にピン球を落として打っても可とする。
- カ プレー中にフリーハンドが板面に触れても相手のポイントにはならない。(故意に板面を動かすことは禁止)
- キ エンドとサービスの選択は、ジャンケンにより決定する。
- ク ベンチ入りできるコーチは1名までとする。

2 服装及び用具

- (1) ユニホーム及びラケットに使用できる色は、(公財)日本卓球協会制定の試合規則によるものとする。
- (2) 出場する選手は、競技用具(ラケット、シューズ等)を各自持参すること。
- (3) 競技場内に入る役員は、体育館シューズを各自持参すること。

3 開始式

- (1) 時間 9時30分から卓球会場で行う。
- (2) 内容 主催者あいさつ、競技上の注意、全国大会出場選手の紹介等
- (3) その他 出場選手は、開始式前までに所定の場所で受付を済ませること。

4 表彰

各種目競技終了後、ただちに行う。

フライングディスク競技実施要領

基本的には、日本障害者フライングディスク連盟競技規則に準じ、実行委員会申し合わせによる。

競技規則

第1条 競技種目

競技はアキュラシー競技（ディスリート・ファイブ 5 m）とディスタンス競技とする。

第2条 ディスタンス競技

1 競技フィールド

- (1) 競技場は、平坦かつ障害物のない地域でなければならない。
- (2) 1プレーヤーが競技する競技場をサイトという。サイトの設置は追い風を原則とする。
- (3) 1サイトは横20 m以上、縦60 m以上とする。
- (4) スローイングエリアはスローイングラインとエンドラインを結ぶ四角形（1.6 m×1.8 m）の範囲内とする {図2}

2 用具

(1) ディスク

競技用ディスクは、日本障害者フライングディスク連盟公認の「ファストバックモデル」で直径23.5 cm、重量100±5 gとする。

(2) スローイングライン（足留材）{図1}

- ①材質：白色プラスチック製または木製とする。
- ②色：白色
- ③形状：長さ1.6 m、巾6 cm、高さ4 cm
- ④止め方：完全固定

3 競技

(1) 競技種目

ディスタンス競技は、男女立位・座位の区分に分けて行う。

(2) 競技規則

- ①プレーヤーはスローイングエリア内でスローイングしなければならない。
- ②プレーヤーは試技の前に1回のテストスローイング（練習）をしなければならない。
テストスローイング用ディスクは競技用と同規格のもので色は黄色とする。
- ③プレーヤーは3回連続して試技を行う。
- ④投げられたディスクの有効範囲はスローイングラインの前方180°以内とする。
- ⑤距離計測は、スローイングライン中央の計測点から、ディスクが1番最初に地面に触れた点までとする。{図3}
- ⑥スローイングの方法は自由とする。
- ⑦競技上有利となる用具の使用は認めない。
- ⑧競技の時間は、プレーヤーが1投目のディスクを受け取ってから3分とする。
3分以後の試技は無効とする。
- ⑨座位で競技する場合、椅子等座るための用具の高さはクッションを含めて75 cm以下とする。

(3) 記録

- ①記録は、3投中もっとも距離の遠い着地点を計測する。
- ②計測は1 cm単位とし、メートルで記録する。mm単位切り捨てる。
- ③同記録の場合、上位3名の順位決定に当たっては、1回（投）の再スローイング（再投）によって決定し、その他の者については同順位とする。再スローイングの記録は公式記録としない。

(4) 反則

- ①プレーヤーがスローイングライン（足留材）の上部または外側の地面に触れたときは

- 無効とする。
- ②車椅子の前輪または後輪がスローイングライン（足留材）の上部または外側の地面に触れたときは無効とするフットレストがスローイングライン上の空間に出ることは認められる。
 - ③補装具は、身体の一部と見なし、スローイングライン（足留材）の上部または外側の地面に触れたときは無効とする。
 - ④スローイング終了後もスローイングライン（足留材）の上部または外側の地面に触れたときは無効とする。
 - ⑤無効となったスローイングは1回（投）として数えるが、計測はしない。

第3条 アキュラシー競技

1 競技フィールド

- (1) 競技場は、平坦かつ障害物のない地域でなければならない。
- (2) 1プレーヤーが競技する競技場をサイトという。サイトの設置は追い風を原則とする。

2 用具

(1) ディスク

競技用ディスクは、日本障害者フライングディスク連盟公認の「ファストバックモデル」で、直径23.5cm。重量100±5gとする。

(2) アキュラシーゴール（標的）

- ①材質：鋼鉄製で円形部はオレンジ色焼き付け塗装仕上げとする。
- ②形状：直径（内径）91.5cmの円形で、パイプの径は2.5cm円形の下部は地面から0.61mの高さとする。

(3) スローイングライン（足留材）{図1}

- ①材質：プラスチック製または木製とする。
- ②色：白色
- ③形状：長さ160cm、巾6cm、高さ4cm
- ④止め方：完全固定

3 競技

(1) 競技種目

- ①区分：アキュラシー競技は、男女の区分に分けて行う。
- ②デュスリート・ファイブは、スローイングラインの中央よりアキュラシーゴールまでの距離を5mとする。{図4}

(2) 競技規則

- ①プレーヤーは10回連続して試技を行う。
- ②スローイングの方法は自由とする。
- ③競技上有利となる用具の使用は認めない。
- ④プレーヤーが視覚障害者の場合、競技役員がアキュラシーゴール後方3mの距離から音源でスローイング方向を知らせることができる。
- ⑤競技の時間は、プレーヤーが1投目のディスクを受け取ってから5分とする。5分以後の試技は無効とする。

(3) 得点

- ①得点は、ディスクが地面に触れずに直接アキュラシーゴール（標的）を通過した回数とする。風などにより逆方向から通過した場合は得点とならない。
- ②得点と同じであった場合、10回（投）の通過過程において、第1得点を先に先取りした者が上位となる。第1得点と同じであれば第2、第3となる。得点及び通過も同じであった場合、上位3名の順位決定に当たっては、3回（投）の再スローイング（再投）によって決定し、その他の者については同順位とする。

(4) 反則

- ①プレーヤーがスローイングライン（足留材）の上部または外側の地面に触れたときは無効とする。

- ②車椅子の前輪または後輪がスローイングライン（足留材）の上部または外側の地面に触れたときは無効とするフットレストがスローイングライン上の空間に出ることは認められる。
- ③補装具は、身体の一部と見なし、スローイングライン（足留材）の上部または外側の地面に触れたときは無効とする。
- ④スローイングは終了後もスローイングライン（足留材）の上部または外側の地面に触れたときは無効とする。
- ⑤無効となったスローイングは1回（投）として数えるが、ディスクが通過しても得点とはならない。

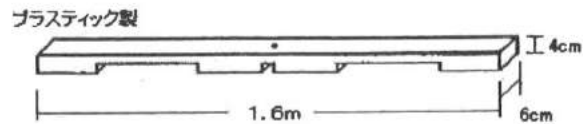


図1 スローイングライン

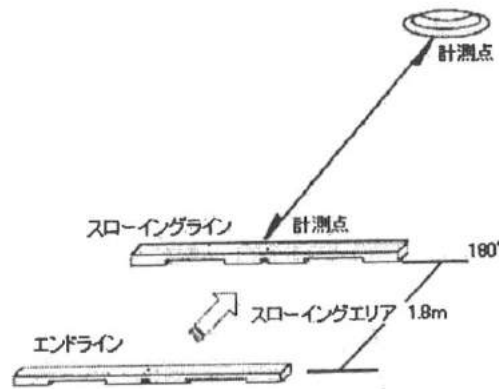


図2 ディスタンス競技のサイト

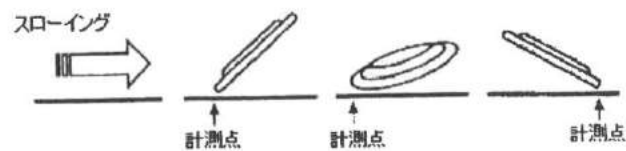


図3 着地点

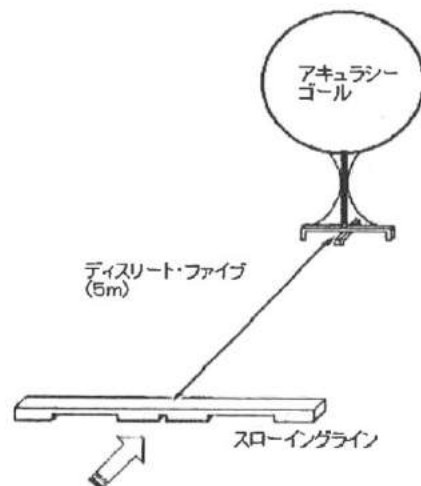


図4 アキュラシー競技のサイト

ボウリング競技実施要領

1 競技方法及びルール

- (1) 公益財団法人全日本ボウリング協会制定「ボウリング競技規則」に準じて行います。
- (2) 1シフト制で競技できる最大人数は216人です。したがって、これを超える参加申込みがある場合には2シフト制で行うこととなります(シフトの振分けは希望を考慮しますが、最終的には主催者に一任願います。)
- (3) シングルレーン(ヨーロッパ)方式で行います。
- (4) 1シフト制の場合は原則として同一レーン6人、2シフト制の場合は4人又は3人1組で競技し、1フレームごとに交代で投球します。
- (5) 組合せは主催者が決定します。
なお、当日の欠場者がある場合、一部の組合せ及びレーンの変更を行う場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- (6) 原則としてバンパーレーン(ガターなし)及び補助スロープは使用しません。
- (7) スクラッチによる2ゲームの合計得点で各組ごとに順位を決定します。
- (8) 同じ組で2ゲームの合計得点が同点であったときは同順位とし、次の順位を欠位とします。
- (9) 投球の際ファール・ラインを踏んでしまった場合、センサーが作動しファールとなります。この場合、その投球のスコアは0点になりますのでご注意ください。
- (10) 同時にアプローチに立ったときは、右側レーンの選手が優先となります。

2 注意事項等

- (1) 服装等
 - ア ボウリング競技をする上で支障のない服装であれば特に指定はしません。
 - イ ソックスは必ずお履きください。
 - ウ 汗などを拭くためのタオルは各選手が用意してください。
 - エ 下靴は主催者が用意するビニール袋に入れ、手荷物と合わせてボウラーズベンチに置き、各選手が管理願います。
- (2) ゼッケン
一部の選手を除き、主催者が事前に配布しますから、受付の前までに背部にしっかりと貼り付けてください。
- (3) 選手受付(集合)
1シフト制の場合は午前8時15分から午前9時まで、2シフト制の場合の第1シフトは午前8時15分から午前8時45分まで、第2シフトは午前11時から11時30分までに、競技会場で受付をお済ませください。
ハウスシューズ及びハウスボールを使用する選手は、あらかじめ各選手ごとにシューズのサイズ及びボールの重さを記入した紙を個人ごとにお持ちいただき、競技役員及び競技補助員の指示を受けてください。

(4) 欠場及び遅刻の連絡

大会当日、病気などで急に欠場になる場合を含め、わかり次第速やかに、必ず連絡してください。

その際は所属・選手名・ゼッケン番号をお伝えください。

群馬県障害者スポーツ協会＝電話0270-63-2600、
FAX(0270-61-8009)。ただし、FAXによる連絡は開催2日前(8月17日(木))までとしてください。

競技会場・パークレーン高崎＝電話027-322-4571、FAX
027-326-7768、営業時間は午前8時から午後10時までです。

(5) 開始式

1シフト制の場合は午前9時15分から、2シフト制の場合は第1シフトのみ、午前9時から競技会場において行います(第2シフトでは行いません。)

主催者挨拶及び競技上の注意等、15分程度を予定しています。

(6) 競技時間

1シフト制の場合は午前9時35分から午前11時50分まで、2シフト制の場合の第1シフトは午前9時20分から午前11時まで、第2シフトは午前11時40分から午後1時10分までの予定ですが、参加者数及び競技の進行状況により変更になることがあります。

(7) 表彰式

各シフトごとに競技終了後、集計ができ次第行います。

各組ごと、全選手を表彰します。

終了解散は、1シフト制の場合は午後1時ごろ、2シフト制の場合の第1シフトについては午前11時10分から予定している表彰が終了した組ごとに順次、第2シフトは午後2時の予定です。

(8) その他

ア 競技は競技役員又は競技補助員の指示にしたがって進行願います。

イ 練習投球は競技スタート前に競技役員又は競技補助員が指示します。

ウ オートマチックスコアラーの操作は競技補助員又は競技役員が行います。

エ ボウラーズベンチに入場できるのは、原則として選手、競技補助員及び競技役員のみとしますが、付添いが必要な選手については遠慮なくお申し出ください。

オ 選手は競技中の飲食、喫煙はご遠慮ください。

また、選手はボウラーズベンチをみだりに離れないようにしてください。

トイレ等、やむを得ず離れる場合は競技補助員に申し出てください。

カ 競技が終了しましたら、ハウスボールは速やかに元の場所にお返しくください。

また、ハウスシューズは表彰式終了後に所定の返却場所にお返しくください。

キ ご不明なことがございましたら、遠慮なく競技役員にお問い合わせください。

アーチェリー競技実施要領

1 競技規則

適用する競技規則は、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会編「全国障害者スポーツ大会競技規則集」及び、公益社団法人全日本アーチェリー連盟制定の競技規則による。

2 競技

- (1) 競技種目は、「アウトドアアーチェリー」とする。
- (2) 競技種別は、「男子」「女子」の2種別とする。
- (3) 競技部門は、「リカーブ部門」と「コンパウンド部門」の2部門とする。

3 競技方法

- (1) 50・30mラウンド
50m、30m、各36射を行射する。(各距離4分6射6回で1立制とする。)
- (2) 30mダブルラウンド
30m、36射を2回行射する。(同一距離4分6射6回で1立制とする。)
- (3) 練習は4分とし、射数は制限しない。
- (4) 得点記録は、選手の相互看的とする。ただし、主管団体に委任することができる。
- (5) 「コンパウンド部門」は30mの距離では、80cm-6リング標的面を使用することもある。

4 表彰

成績の優秀な者を表彰する。

5 オープン競技

アーチェリー競技の普及と理解を深めるため、適用する競技規則を準用し初心者級のオープン競技を下記により行う。

- (1) 18mダブルラウンド
18m、36射を2回行射する。(同一距離4分6射6回で1立制とする。)
80m 標的面
- (2) 練習及び得点記録は「3 競技方法 (3) (4)」による。
- (3) 競技用具の準備などの都合により出場人員は15名以内とする。
- (4) 「コンパウンド部門」は30mの距離では、80cm-6リング標的面を使用することもある。

6 その他

- (1) 出場選手は、競技用具を持参すること。
ただし、オープン競技出場者で競技用具のない者については主管団体において用意する。
- (2) 競技開始時刻に遅れた者は棄権したものとみなす。
- (3) 出場選手数によっては1立制を2立制にすることもある。

フットベースボール競技実施要領

基本的には、群馬県フットベースボール協会の規則に準じ、群馬県障害者スポーツ大会フットベースボール競技に合わせ実行委員会申し合わせによる。

ルール1 競技場

競技は、障害物のない平坦なグラウンドで、別紙略図を参考にして次のとおりとする。

- (1) 内野の各塁間の距離は、15mとする。
- (2) 本塁起点と投手板前縁中心の距離は、10mとする。
- (3) ピッチャーズサークルは、投手板前縁中心から半径 1.5mの円とする。
- (4) 投手板は縦 0.15m、横 0.80mとし埋設する。
- (5) 本塁ベースは縦 0.50m、横 0.80mのダイヤモンド内の大きさとして、ダイヤモンド内に埋設する。
- (6) 1 塁ベースはダブルベースとし縦 0.381m、横 0.762mの長方形で厚さは 0.0762～0.127mとする。
- (7) 2・3 塁ベースは一辺が 0.381mの正方形で厚さは 0.0762～0.127mとしフェア地域に固定する。
- (8) キッカー席（打者席）は縦 2.50m、横 1.50mとする。
なお、次キッカー席（次打者席）は、キッカー席（打者席）後縁左右延長上の中心円としてパスボールライン（場外ライン）近くの半径 0.5mの円とする。
- (9) コーチボックスは縦 1 m、横 2 mの長方形とする。
- (10) スリーフットレーンは幅 1 mとし 1 塁一本塁間中心から 7.5mの破線で一塁側外に示された部分をいい、その他の塁間の破線は描かず両側に想定される。
- (11) パスラインは本塁基点から 5mの円弧とする。
なお、危険防止のため 7mの円弧を破線で描き打撃妨害ラインとする。
- (12) パスボールライン（場外ライン）は 1・3 塁一本塁間（フェアライン）から 4～9 mのフェール地域に描かれた平行線とする。
- (13) 離塁ラインはキッカー席（打者席）の前縁及び左右 0.75mの延長線とする。
- (14) ホームランラインは本塁起点から 1・3 塁延長線上の 30m地点と投手板前縁の中心が交わる点を半径とした円弧で左右のパスボールライン（場外ライン）まで引かれた線という。

（注）ホームランライン内側に妨害されないフェアの打球がある場合インプレーであり、フェアの打球（飛球）がノーバウンドでホームランラインを越えたときはホームランとし、バウンドしながら越えたときは 2 塁打とする。フェアの打球がパスボールライン（場外ライン）の外に出た場合も 2 塁打とする。悪送球が場外にでた場合は野手の手を離れたときに占めていた塁より、2 個の安全進塁権を与える。ただし、飛球やライナーの捕球後の悪送球が外に出た場合は投球時に占めていた塁より、2 個の安全進塁権とする。

ルール2 用具

- (1) 試合球は、サッカーボール 4 号（小中学校教育ゴム製・空気圧 0.6～0.7kg/cm²・重さ 350～370g 以内）とし、空気圧計がないときは 2 mの上空から落下させ、1.5～1.7mはバウンドするものを使用する。
- (2) 靴は、運動靴又は金属のついていないスパイクを使用する。

ルール3 選手

- (1) 選手は 1 1 名にてゲームし、健常者の女子 2 名は左肩に赤いリボンをつけて投手以外の守備のみの参加とし、指名選手には健常者の女子 3 名以外の選手を指名し攻撃する。
- (2) 選手の登録は、健常者の女子 3 名を含む 1 5 名以内とし、試合当日の開会式までに

本部受付に提出する。なお、それ以降の変更及びソフトボール選手との二重登録は認めない。

- (3) 各試合15分前までにメンバー表に健常者の女子2名のそれぞれの指名選手を明記して3部提出する。

ルール4 試合

- (1) 児童、成人、男女混合でリーグ戦で優勝を競う。
- (2) 試合は5回戦とし、3回以降20点の差がついた時は、コールドゲームとする。
- (3) 試合開始45分経過後は、新しいイニングに入らない(時間厳守)
- (4) 5回戦終了又は45分経過後は新しいイニング直前に同点の場合は、健常者を除く最終選手9名の抽選により勝敗を決定する。
- (5) 試合中に降雨その他の理由で続行不可能となった場合は本部の決定に委ねるものとする。

ルール5 投球

- (1) 投手は、投球する前に投手板に両足を完全に接触させ身体の前でかつ、両手で試合球を持ち、キッカー(打者)に面し、完全に停止しなければならない。(停止は2秒以上10秒以内)
「身体の前」とは、身体のすべて(頭、顔、胴体、下肢)の全面をいう。
- (2) 投手は、キッカー(打者)に対し投手板上に両足を踏み、股の下から両手で投球しなければならない。なお、投球動作の間は両足、その一部が投手板に触れていなければならない。

ルール6 打撃(キック)

- (1) キッカー(打者)は、キッカー席内でかまえ、足の甲など膝下以下で蹴らなければならない。
- (2) キッカーがボールを蹴るとき軸足はキッカー席内に残っていなければならない。
- (3) 次の場合はファウルボールとする。
 - ・キッカー席内で打球がキッカー(打者)の一部に触れたとき。
 - ・打球がパスライン内に止まったとき又はパスライン内で捕球されたとき。ただし、打球がダイレクトに野手に捕球されたときはアウトとする。
 - ・膝下以外で、投球されたボールに故意に触れたとき。
- (4) スリーストライクルール(振り逃げ)は適用しない。キッカーアウトとする。
- (5) 指名選手(DP)・打撃専門(DEF O)・守備専門制を採用し、再出場制(リエントリールール)は採用しない。「健常者女子2名は、投手を除く守備専門の野手となり攻撃には参加できない。キッカーはそれぞれの指名選手(健常者3名以外の選手)がキッカーとなり攻撃する。」
- (6) いわゆるジャンピングキックは禁止しキッカーアウトとする。

ルール7 走塁

- (1) いかなる場合も盗塁は認めない。ただし、四球を得た後の引続いて次の塁への進塁は例外として全国大会同様認める。(2004年改正)
- (2) キッカーが投球ボールを蹴る前又はボールが離塁ラインを通過する前に離塁したときは、走者アウト(離塁アウト)とする。
- (3) 野手の送球が悪送球となり、パスボールライン等の場外に出た場合は、その送球が野手の手から離れたときに占めていた塁より2個の安全進塁権が与えられる。ただし、飛球やライナー捕球後の送球が悪送球となりパスボールライン等の場外に出た場合は、走者及び打者走者にはその投球時に占めていた塁より2個の安全進塁権が与えられる。
- (4) 走塁時の滑り込み動作(スライディング)は禁止し対象の走者をアウトとする。

- (5) 打者走者は打球が内野に打たれるか、外野に打たれ1塁でプレイが行われ1塁を走り抜ける場合はオレンジベースに触れなければならない。(オレンジベースに触れなければ触塁したとはみなされず、打者走者が白色ベースに戻る前に守備側からアピールされれば塁の空過としてアウトになる。)
- (6) 打者走者は、打球による1塁でのプレイが行われない場合及び1塁側ファウル地域からのプレイが行われる場合は、白色ベース、オレンジベースのいずれに触れてもよい。ただし、走り抜けた後の帰塁は白色ベースに触塁しなければならない。

ルール8 守備

- (1) ストライクとは正しい投球がパスライン内を通過したゴロで、キッカー（打者）の膝下以下の高さで本塁上の空間の一部に触れたとき。正しい投球をキッカー（打者）が空振りしたとき。ファウルチップになったとき。ノーストライク又はワンストライクのとき打球がファウルボールになったとき。ストライクゾーン「正しい投球がキッカーの膝下以下の高さで本塁上の空間」の投球がキッカーに触れたとき。
(注) ゴロとは投手板の前縁から本塁ベース起点までの10mの間を3回以上バウンドした場合をいう。
- (2) インフィールドフライは適用しない。

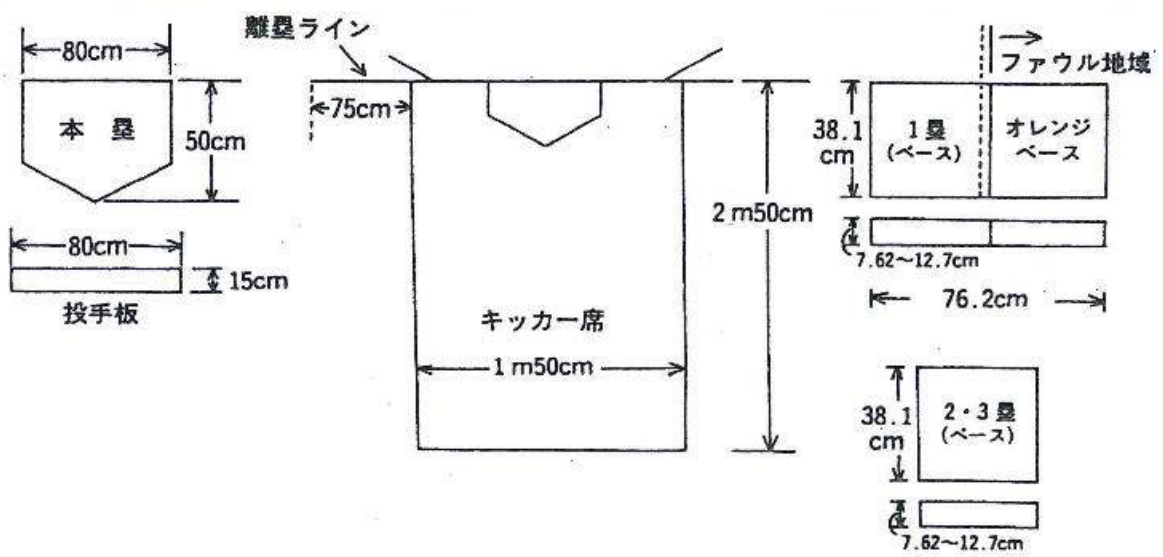
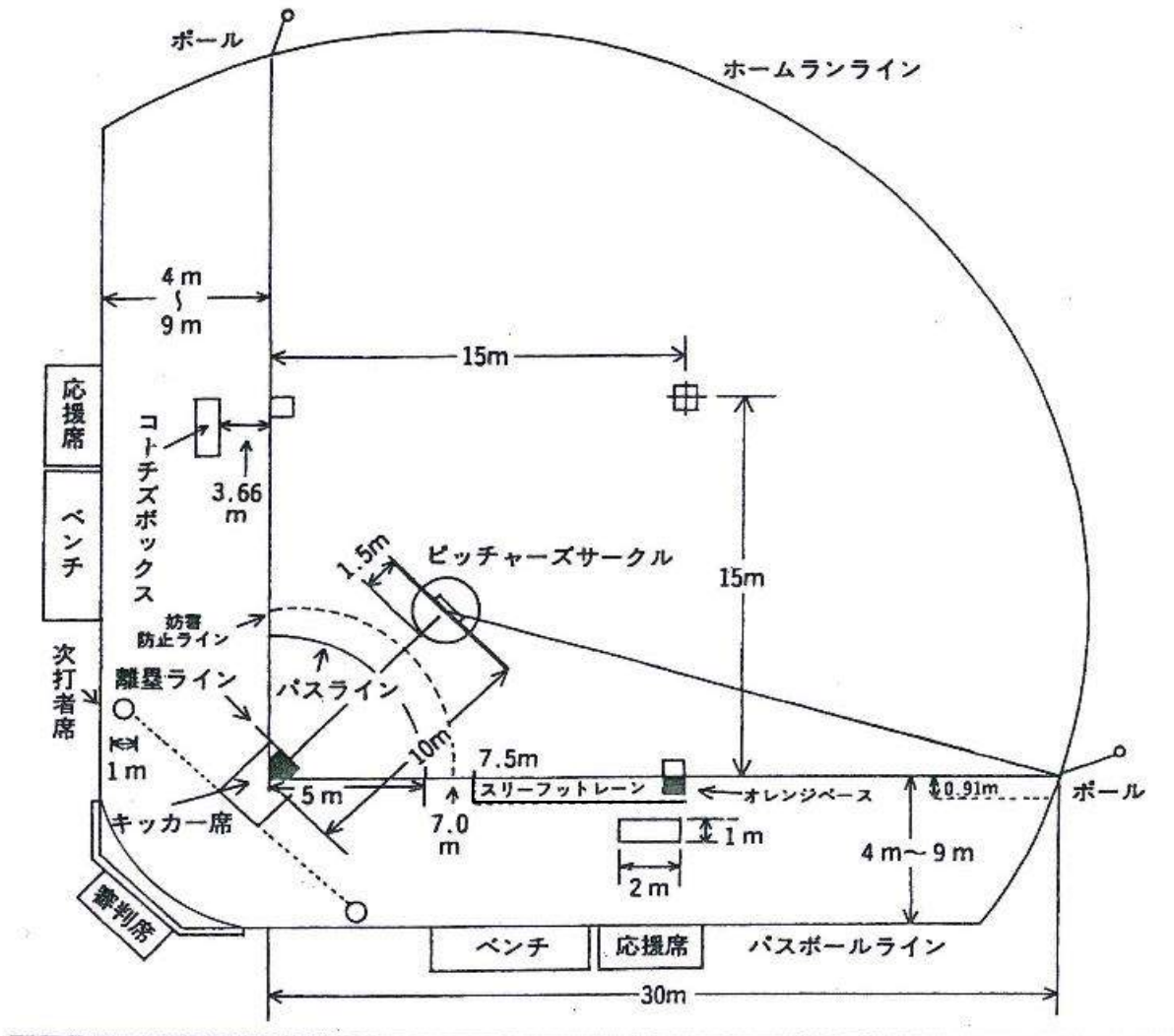
ルール9 停止球

- (1) ピッチャーズサークルの中で投手が野手からの送球を確保（片足を含む）したときは試合停止（ボールデット）とし、塁間にいた走者（打者走者は除く）は押し出しの状態にならない限り元の塁へ戻らなくてはならない。ただし、走者がピッチャーズサークル内で直接打球を処理した場合はいったん両足ともサークルの外にでてから戻らなければ試合停止とはならない。

申し合わせ事項

- (1) ダブルベースについての申し合わせ事項
 - 1) 打球が内野に打たれるか、外野に打たれ1塁でプレイが行われる場合、打者走者が1塁を走り抜けるときはオレンジベースに触れなければならない。オレンジベースに触れなければ触塁したとはみなされず、打者走者が白色ベースに戻る前に守備側からアピールされれば塁の空過としてアウトとなる。(アピールは打者走者が白色ベースに戻る前に触球するか白色ベース上で球を保持してアピールしなければならない。)
 - 2) 1塁ベースを走り抜けた後はすべて白色ベースに帰塁しなければならない。
 - 3) 内野を通過する打球又は四球を得て1塁ベースでプレイが行われないときの最初の触塁は白色ベース・オレンジベースのどちらに触塁してもよい。
 - 4) 1塁走者が飛球やライナーでタッチアップするときは白色ベースからしなければならない。(オレンジベースからのタッチアップはアピールプレイがあればアウトとなる。)
 - 5) 白色ベースに帰塁した走者がオレンジベースのみに触れているときボールを持った野手にタッチされたとき及び正しく投げられた球が離塁ラインを通過する前かキッカーが蹴る前にオレンジベースから離塁した場合も離塁アウトとなる。
 - 6) 守備側の選手は常に白色ベースを使用しなければならない。ただし、1塁側のファウル地域からプレイのときは、守備者・打者走者は白色ベース・オレンジベースのどちらを使用してもよい。
 - 7) ダブルベースを使用しないときは大会要領に明記する。
- (2) その他の申し合わせ事項
その他の申し合わせ事項については、毎年大会前に確認される競技規則集・審判申し合わせ事項によるものとする。

競技場略図



バスケットボール競技実施要領

1 ルール

基本的には、公益財団法人日本バスケットボール協会競技規則に準じ、実行委員会申し合わせによる。

- (1) 試合球は男子7号球、女子6号球とする。
- (2) 危険だと思われるプレー（ファウル）については、厳しくとり、注意を与える。
- (3) 同点の場合は、5分間の延長戦で勝負を決めるものとする。それでも同点の場合は、5分間の延長を勝負が決するまで繰り返す。
- (4) 試合時間は7分のクォーターを4回行う。（7-2-7-⑤-7-2-7）
- (5) 次の試合は、終了10分後に開始する。

2 開始式及び表彰式

- (1) 開始式 〈ふれあいスポーツプラザ〉
ア 9：00からバスケットボール競技会場で行う。
- (2) 表彰式 〈ふれあいスポーツプラザ〉
ア 競技終了後バスケットボール競技会場で行う。
イ 上位チームを表彰する。
ウ 優勝チームに翌年度の全国障害者スポーツ大会関東ブロック予選会の出場権を付与する。
なお、同予選会の派遣選手については、優勝したチームに他の選手を補強し、男女ともに20名程度を選考。その後の練習会参加状況や所属長等の理解度を勘案して、最終的には12名を選抜（事前に連絡）する。

3 注意事項

- (1) 招集
ア 各試合ごとに選手エントリー票を前の試合のハーフタイム中にコート主任に提出する。選手エントリー票は競技本部で用意する。
イ 会場はAコート（ふれあいスポーツプラザ体育室）、Bコート（しろがね特別支援学校体育館）で行う。
- (2) 競技時間
ア 開始時間
(Aコート) 第1試合9：30～ 第2試合10：40～ 第3試合11：50～
第4試合13：30～
(Bコート) 第1試合9：50～ 第2試合11：00～ 第3試合12：30～
- (3) チーム編成
監督 1名 コーチ 2名 選手 18名以内
- (4) 服装
選手はユニホーム着用とする。原則として組合せ表の番号の若いチームが淡色を着用する。
- (5) その他
ア ベンチは組合せ表の番号の若いチームがオフィシャル席に向かって右側とする。
イ ゲーム開始予定時間が遅れた場合は、10分間の練習時間をおく。
ウ 前のゲームのハーフタイムは、3分前の合図までは次のチームが練習してもよい。
エ 競技場内には、大会役員・競技役員・補助員・選手及び付添者以外は立ち入ることとはできない。
オ 競技会場は土足禁止のため必ず体育館シューズまたは上履きを使用すること。
カ 大会当日、不明な点は運営本部に問い合わせをする。

ソフトボール競技実施要領

- I 基本的には、日本ソフトボール協会（JSA）の平成30年度規則に準じ、実行委員会申し合わせにより実施する。
- II 実行委員会申し合わせ事項
- (1) ファスト・ピッチによる。
 - (2) 試合は7イニングス・90分とする。また、5回終了時点で10点差のコールドゲームを採用する。同点の場合はタイブレーカーとする。
 - (3) 投・捕間は、12.19mとする。
 - (4) 外野フェンスまでの距離は60mとする。
 - (5) 試合球は3号球ゴム製とする。（競技会本部で用意する。）
 - (6) 盗塁、振り逃げ、ランナー3塁のときのバント（スクイズ）、リエントリー制は適用しない。

注意事項

- 1 競技に関する打ち合せは監督会議の時に行う。
- 2 約10分程度の開始式を行う。
- 3 各試合ごとに打順表4枚を試合開始30分前までに球審に提出する。（用紙は競技会本部で用意する。）
- 4 競技開始時刻（荒天時には競技会本部で決定する。）
 - (1) 8月26日（日）

開始式	9：30
第一試合	10：00
〈 昼 食 〉	
第二試合	12：30
表彰式	14：10（予定）
 - (2) 8月26日（日）が荒天のときは中止とする。
- 5 チーム編成
男子単独、男女混合、女子単独いずれのチーム構成も可。
監督（1名）、コーチ（2名以内）、選手（20名以内）
指導員（職員）は男女各1名プレイヤーとして出場することができるが、投手・打者打者は障害者にかぎる）にはなれない。
- 6 服装
 - (1) 監督、コーチ、選手は同衣装のユニホームを着用する。
背番号は、監督30番、コーチ31・32番、主将10番とする。
 - (2) ヘルメットの着用を義務付ける。捕手は捕手用スロートガード付マスク、ヘルメットプロテクター、レガースを着用する。
 - (3) 金属スパイクは禁止とする。
- 7 競技方法
トーナメント方式とし、3位決定戦を行う。
- 8 その他
その他競技に関する取り決めは監督会議で協議して決定する。
監督会議は開始式前9時00分より競技会本部で行う。

サッカー競技実施要領

1 競技規則

日本サッカー協会「サッカー競技規則」に準ずる。

2 チーム

監督1名、メンバー表に記載された選手（登録人数の制限なし）及びコーチとする。

3 競技方法

- (1) リーグ戦方式とする。
- (2) 試合時間は30分とし、ハーフタイムのインターバルは5分とする。延長戦・PK戦等を行わない。
- (3) 順位の決定は勝ち点制（勝ち 3点、引き分け 1点、負け 0点）とし、その合計得点により順位を決定する。ただし、同点の場合は①得失点差②総得点③該当チームの対戦成績④抽選の順序により決定する。
- (4) 試合球は5号検定球とし、マルチボールシステムを採用する。
- (5) メンバー表（各チームで準備）は試合開始15分前までに本部へ4部提出する
- (6) 選手交代については人数制限はないが、第4の審判員のチェックを受け主審の承認を受けた後に行う。リエントリー可。
- (7) 競技はすべて審判の指示で進行される。（インプレー中は笛が鳴るまでプレーをやめてはならない。）
- (8) 主審から承認を得たなどの場合を除き、監督・コーチは常にベンチにとどまっていなければならない。ただし、テクニカルエリアにて1名は戦術的な指示を与えることができる。
- (9) 退場及び累積された警告による出場停止処分は本部の定めるところによる。

4 競技者の用具

- (1) 選手は背番号付きのユニフォーム（シャツ・パンツ・ソックス）を着用する。
- (2) ゴールキーパーは他の競技者と区別できる色の物を用いる。
- (3) ユニフォームは正・副2種類用意する。（用意できない場合はビブスも可）
- (4) すねあては必ず着用する。取り替え式のスパイクは不可とする。
- (5) 危険であったり、競技に支障をきたす恐れのある用具（眼鏡、アクセサリ）は、原則として使用できない。

5 その他

- (1) ベンチは組み合わせ表の左側のチームがピッチに向かって左側とする。
- (2) 競技場内は選手、監督、コーチ、付添者、大会役員、競技役員・補助員以外は入場することはできない。
- (3) 競技その他不明な点は本部に問い合わせること。
- (4) 熱中症対策・JFA 策定の熱中症対策実施要項遵守

バレーボール競技(精神障害の部)実施要領

1. 競技運営

- (1) 競技は、バレーボール(ソフトバレーボール用ボールを使用する。)とし、日本バレーボール協会制定の6人制バレーボール競技規則に準拠し実施する。
- (2) 競技は、別に定める競技規則により実施する。
- (3) 試合方法はトーナメント方式とする。
- (4) 競技記録及び成績は会場の所定の場所に本部が掲示する。

2. チーム編成

1チーム選手12名以内、役員2名(監督、コーチ)以内とし、この他に補助者により構成する。

3. 競技時間

午前10時から午後5時までとする。
※参加チーム数の変更による終了時間の変更あり

4. 受付

各チームは決められた時間(午前9時15分から9時50分)までに受付を行い、受付時間に間に合わなかった場合は原則として失格とする。

5. 開会式

競技に先立ち開会式を開催する。

6. 表彰式及び閉会式

- (1) 競技終了後、表彰式及び閉会式を開催する。
- (2) 優勝、準優勝、第3位のチームを表彰する。
- (3) 優勝チームに翌年度の全国障害者スポーツ大会関東ブロック予選会の出場権を付与する。

7. 安全管理及び救護

参加者の健康及び安全管理については、主催者、参加者及び参加団体関係者において十分配慮することとし、原則として主催者は応急処置のみを実施する。

8. 保険加入

参加選手及びチーム役員に対しては、主催者の負担において傷害保険に加入する。

9. 昼食

昼食は参加者で手配をしてください。
昼食時間は設けませんので、大会運営状況を勘案し適宜済ませてください。

10. 参加申込み

- (1) 申込期限は平成30年4月26日(木)必着とする。
- (2) 申込内容の変更や参加を取り消す場合には、平成30年7月13日(金)までに文書により参加申込先を經由し主催者に申し出ること。
- (3) 病気などやむを得ない理由により選手を変更する場合は、大会前日までに文書により参加申込先を經由し主催者に申し出ること。
- (4) 申込先(問い合わせ先)

〒379-2214 伊勢崎市下触町238-3

群馬県障害者スポーツ協会 TEL 0270-63-2600 FAX 0270-61-8009

第35回県民スポーツ祭群馬県障害者スポーツ大会2018 参加申込要領

1 目的

この要領は、第35回県民スポーツ祭群馬県障害者スポーツ大会2018実施要綱（以下「要綱」という。）に基づき、参加申込みに関する必要な事項を定めるものとする。

2 提出期限

各競技ごとに申込期限が異なるため、それぞれの参加申込書を参照すること。

○各競技申込期限

申込期限	実施競技
4月26日（木）	バレーボール【精神】
5月26日（土）	ボウリング【知的】 卓球【身体、知的、精神】 ソフトボール【知的】
6月8日（金）	フライングディスク【身体、知的】 アーチェリー【身体】
6月16日（土）	陸上競技【身体、知的】
6月30日（土）	水泳【身体、知的】 フットベースボール【知的】 サッカー【知的】
7月8日（日）	バスケットボール【知的】

※期限後の提出及び内容の変更は原則として認めない。

参加団体毎に取りまとめて提出のこと。在宅者や個人は原則として各市町村経由にて申込のこと。

3 提出先（郵送・メール送信・FAXいずれかの方法で提出すること。）

群馬県障害者スポーツ協会 事務局

〒379-2214 伊勢崎市下触町 238-3（ふれあいスポーツプラザ内）

TEL：0270-63-2600

FAX：0270-61-8009

E-mail：gunma.id.sports@zb.wakwak.com

4 提出書類

各競技の参加申込書

競技別・男女別・障害別（身体・知的・精神）に作成し提出すること。

5 書類入手方法

(1) 群馬県障害者スポーツ協会ホームページ（下記）よりダウンロード

<http://www.gunma-s-a-d.jp>

(2) 群馬県ホームページ（下記）よりダウンロード

<http://www.pref.gunma.jp/02.d4210047.html>

6 競技一覧及び出場の制限等

26ページ・27ページの「群馬県障害者スポーツ大会競技・種目表」を参照のこと。
障害区分については28ページから31ページの競技別「身体障害区分早見表」を参照のこと。

同日開催競技は1人1競技の参加とする。

7 その他

- ・ナンバーカード（ゼッケン）は主催者が用意する。
- ・大会参加選手のスポーツ障害保険の加入については、主催者において一括加入する。

8 第19回全国障害者スポーツ大会（以下「全国大会」という。）に参加を希望する場合

県大会2018を平成31年10月12日（土）から14日（月）に開催される「第19回全国障害者スポーツ大会（いきいき茨城ゆめ大会）」の選考会と位置づけ開催する。第19回全国大会への出場を希望する者は原則として、県大会2018に出場する。申込書の参加希望欄に必ず参加有無の記入をする。

群馬県障害者スポーツ大会競技・種目表

年齢区分	知的障害の部		身体障害の部	
	幼年	6歳(小学1年)～ 12歳	1部	39歳以下
	少年	13歳(中学1年)～ 19歳		
	青年	20歳～ 35歳	2部	40歳以上
壮年	36歳以上			

1-1.陸上競技

○男女別・年齢別区分別、障害区分別 △男女別、年齢区分なし

	知的障害	身体障害の部																										
		肢Ⅰ								肢Ⅱ							肢Ⅲ						肢Ⅳ	視		聴	内	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
50m	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○					○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○
100m	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○				○		○	○		○	○	○	○	
200m	○										○	○	○	○	○				○		○	○		○	○	○	○	
400m	○																											
800m※	○										○	○	○	○	○				○					○	○	○	○	
1500m※	○	○	○	○							○	○	○						○		○	○		○	○	○	○	○
スラローム										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○					
立幅跳	○	○	○	○	○	○	○	○		○													○	○		○	○	○
走幅跳	○	○	○	○	○	○				○													○	○		○	○	○
砲丸投		○			○	○	○	○	○			○	○	○	○				○	○	○	○		○	○	○	○	○
ソフトボール投	○	○			○	○	○	○	○			○	○	○	○				○	○	○	○	○		○	○	○	○
ハンドボール投		○			○	○	○	○	○														○		○	○	○	○
ジャベリックスロー	○	○			○	○	○	○	○			○	○	○	○				○	○	○	○	○		○	○	○	○
ビーンバック投げ										○	○							○	○					○				
4×100mリレー	△																											

※800m、1500mは13歳(中学1年)以上とする。

1-2.デモンストレーション競技(25mオープンコース)

知的障害の部のみとし、男・女、年齢区分を問わない。1-1.陸上競技に出場する選手は出場不可。

2.水泳

○男女別・年齢別区分別、障害区分別 ▲選手編成(男・女又は混合)を問わない

	知的障害	身体障害の部																										
		肢Ⅰ												肢Ⅱ				肢Ⅲ					肢Ⅳ	視		聴		
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	
自由形	25m	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	50m	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	100m	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
背泳ぎ	25m	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	50m	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	100m	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平泳ぎ	25m	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	50m	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	100m	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
バタフライ	25m	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	50m	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	100m	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
200mリレー(4×50m)	▲																											

3.卓球

○男女別・年齢区分別、障害区分別

	知的障害	身体障害の部																精神障害
		肢Ⅰ					肢Ⅱ			肢Ⅲ				視		聴		
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	
卓球	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
サウンドテーブルテニス																	○	

4.アーチェリー

○【身体障害の部のみ】男女別・年齢区分別、障害区分別

	身体障害の部							
	肢Ⅱ		肢Ⅰ			肢Ⅲ	聴	内
	1	2	3	4	5	6	7	8
50m・30m リカーブ	○	○	○	○	○	○	○	○
30mダブル リカーブ	○	○	○	○	○	○	○	○
オープン	○	○	○	○	○	○	○	○
50m・30m コンパウンド	○	○	○	○	○	○	○	○
30mダブル コンパウンド	○	○	○	○	○	○	○	○

5.フライングディスク

○男女別、競技区分(立位・座位)別

	知的障害	身体障害			
		肢	視	聴	内
		1	2	3	4
アキュラシー	○	○	○	○	○
ディスタンス	○	○	○	○	○

6.ボウリング

○【知的障害の部のみ】男女別・年齢区分別

7.団体競技

	知的障害	身体障害	精神障害
フットベースボール	○		
バスケットボール(男子)	○		
バスケットボール(女子)	○		
ソフトボール	○		
サッカー	○		
バレーボール			○

身体障害区分早見表

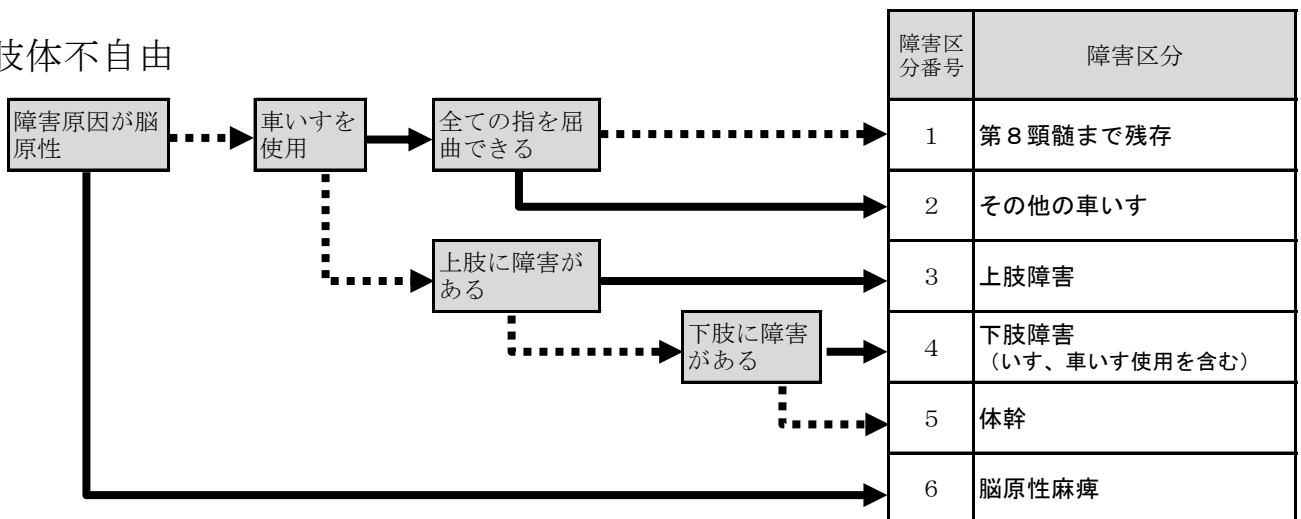
身体障害区分早見表の使用方法について

1. 出場希望競技ごとの早見表を使用してください。
陸上、水泳、卓球、アーチェリー、フライングディスクの障害区分はそれぞれ異なります。フライングディスクについては、「肢体不自由者」「視覚障害者」「聴覚障害者」「内部障害者（ぼうこう又は直腸機能障害）」のみの区分です。
2. 各設問に対し、YES、NOに従い進んでください。最後にたどり着いた数字が障害区分の番号になります。
3. 各設問に対する答えは、身体障害者手帳や更生指導台帳、本人からの事情聴取等を参考に判断してください。
判断に迷うケースが出た場合は、群馬県障害者スポーツ協会までお問い合わせください。
4. 障害区分の決定後は、「競技・種目表」（26～27ページ）により出場希望種目を審査してください。
障害区分と部（年齢）によっては、出場できない競技もあります。

障害者スポーツ大会 身体障害区分早見表 (アーチェリー)

YES →
NO →

肢体不自由



聴覚障害



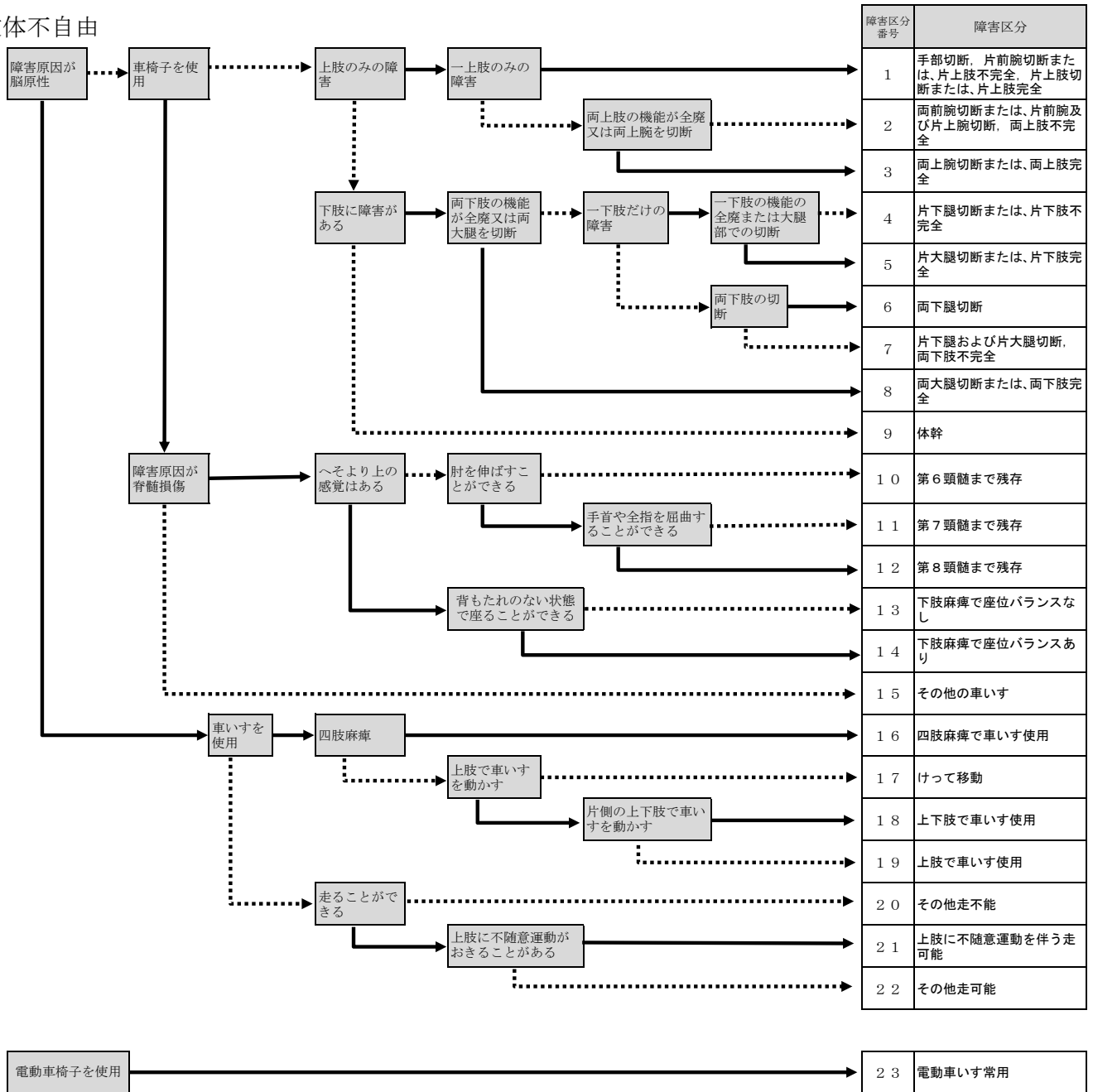
内部障害



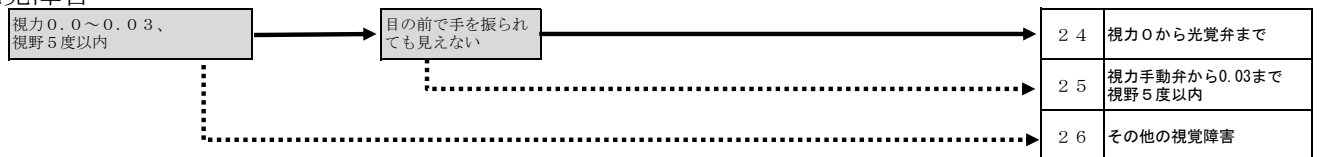
障害者スポーツ大会 身体障害区分早見表 (陸上)

YES →
NO→

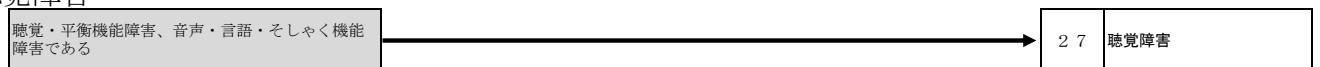
肢体不自由



視覚障害



聴覚障害

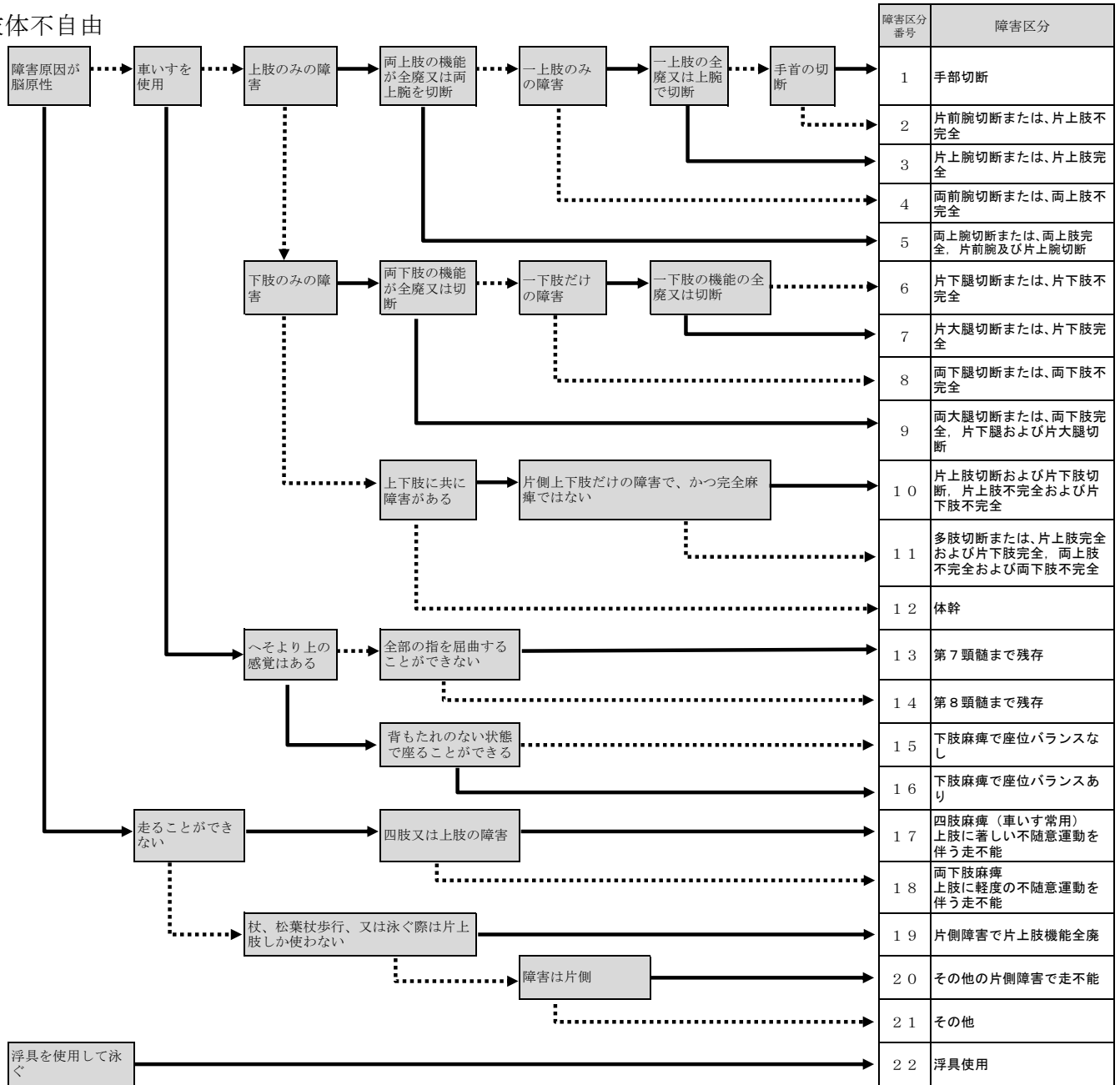


内部障害

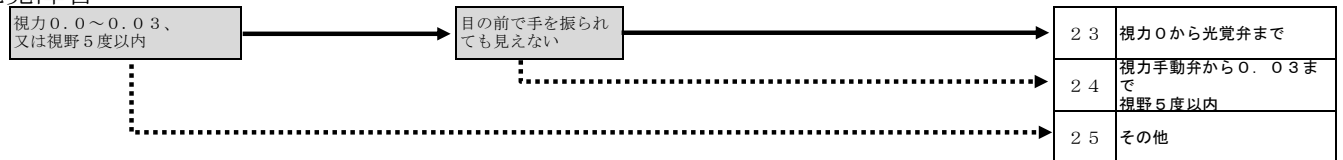


YES →
NO→

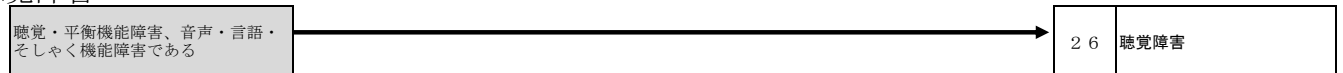
肢体不自由



視覚障害



聴覚障害



群馬県障害者スポーツ大会2018競技別申込書

各競技実施要領、26ページ・27ページの「競技・種目表」を参考にご記入ください。

提出について

- 各競技実施要領、P26、27の「競技・種目表」を参照の上、各競技の参加申込書に記載の期日までにお申込ください。
(期限後の提出及び内容の変更は原則として認めません。)
- 「県大会2018」は、平成31年度に開催される「第19回全国障害者スポーツ大会(いきいき茨城ゆめ大会)」の選考会と位置付けた大会とすることから、第19回全国障害者スポーツ大会への出場を希望する方は、競技用申込書様式(陸上競技、水泳、卓球、フライングディスク、ボウリング、アーチェリー)中の次の箇所に参加の有無を忘れないよう記入してください。

第19回全国障害者スポーツ大会(いきいき茨城ゆめ大会)参加希望の有無
※希望有りでも記録等により必ず参加できるとは限りません。

有 ・ 無

※必ず有無のどちらかに○印を付けてください。

従来、4月に実施してきた、「全国障害者スポーツ大会派遣候補選考記録会」は実施しませんので、注意してください。

- 郵送、メール送信、FAXいずれかの方法でご提出ください。
- 競技別、男女別、障害別(身体・知的)に作成してください。

下記より申込書類のダウンロードができます。

①群馬県障害者スポーツ協会ホームページ

<http://www.gunma-s-a-d.jp>

②群馬県ホームページ

<https://www.pref.gunma.jp/02/d4210047.html>

お申込・お問い合わせ先

群馬県障害者スポーツ協会事務局
〒379-2214 伊勢崎市下触町238-3
TEL 0270-63-2600
FAX 0270-61-8009
e-mail: gunma.id.sports@zb.wakwak.com

陸上競技用

所属名	
作成者	
連絡先	

提出期限:平成30年6月16日(土)

第35回県民スポーツ祭
群馬県障害者スポーツ大会2018参加申込書(個人申込用)

大会当日、報道関係(テレビ・新聞等)が取材、写真撮影等を行うことが予想されます。大会プログラム等に氏名、性別障害区分等を掲載することになります。以上のことに同意の上お申し込みください。
また、平成31年10月12日(土)から14日(月)に開催される第19回全国障害者スポーツ大会(いきいき茨城ゆめ大会)の選考会も兼ねているため、参加希望の有無欄に必ず記入をしてください。

第19回全国障害者スポーツ大会(いきいき茨城ゆめ大会)参加希望の有無 ※希望有りでも記録等により必ず参加できるとは限りません。	有 ・ 無
--	-------

フリガナ				
氏名		性別	男 ・ 女	年齢 区分
生年月日	S・H	年	月	日生(年齢 歳)
住所 (電話番号)	〒			
障害の分類	知的	肢体	視覚	聴覚
	内部(ぼうこう又は直腸機能障害)			障害区分番号 ※身体障害の方のみ 記入
障害名 ※身体障害の方 のみ記入	(手帳に記載されている内容を記入)			
補装具の 使用状況	有	無	※有の場合()	
陸上競技 出場種目	①			
	②			
備考				

陸上競技用

提出期限:平成30年6月16日(土)

第35回県民スポーツ祭 群馬県障害者スポーツ大会2018 参加申込書(団体申込用)

大会当日、報道関係(テレビ・新聞等)が取材、写真撮影等をすることが予想されます。大会プログラム等に氏名、性別、障害区分を掲載することになります。以上のことに同意の上お申込みください。また、平成31年10月12日(土)から14日(月)に開催される第19回全国障害者スポーツ大会(いきいき茨城ゆめ大会)の選考会も兼ねているため、参加希望の有無欄に必ず記入をしてください。

※該当箇所に○を記入してください。(男女別、知的障害・デモンストレーション・身体障害別に作成してください。)

知的障害の部(男・女)	所属	申込責任者
デモンストレーション(知的)	住所	電話
身体障害の部(男・女)	E-mail	FAX

NO.	フリガナ	性別	生年月日	年齢 区分	※身体障害の方のみ記入 障害区分番号 障害名(手帳に記載されている内容を記入)(身体)	出場種目 ※デモンストレーションは不要	リレ- (知的)	第19回全国大会 参加希望の有無 ※希望有でも必ず参加 できるとは限りません	備考
	氏名	年齢							
1		男・女	S・H 年			①		有・無	
		歳	月 日			②			
2		男・女	S・H 年			①		有・無	
		歳	月 日			②			
3		男・女	S・H 年			①		有・無	
		歳	月 日			②			
4		男・女	S・H 年			①		有・無	
		歳	月 日			②			
5		男・女	S・H 年			①		有・無	
		歳	月 日			②			

	知的障害の部（男・女）	所属	申込責任者
	デモンストレーション(知的)	住所 〒	電話
	身体障害の部（男・女）	E-mail	FAX

NO.	フリガナ 氏名	性別 年齢	生年月日	年齢 区分	※身体障害の方のみ記入 障害名(手帳に記載されている内容を記入)	障害区 分番号 (身体)	出場種目		リレ (知的)	第19回全国大会 参加希望の有無 ※希望有でも必ず参加 できるとは限りません	備考
							※デモンストレーションは不要				
6		男・女 歳	S・H 年				①			有・無	
			月 日				②				
7		男・女 歳	S・H 年				①			有・無	
			月 日				②				
8		男・女 歳	S・H 年				①			有・無	
			月 日				②				
9		男・女 歳	S・H 年				①			有・無	
			月 日				②				
10		男・女 歳	S・H 年				①			有・無	
			月 日				②				
11		男・女 歳	S・H 年				①			有・無	
			月 日				②				
12		男・女 歳	S・H 年				①			有・無	
			月 日				②				
13		男・女 歳	S・H 年				①			有・無	
			月 日				②				

水泳競技用

所属名	
作成者	
連絡先	

提出期限：平成30年6月30日(土)

第35回県民スポーツ祭 群馬県障害者スポーツ大会2018参加申込書(個人申込用)

大会当日、報道関係(テレビ・新聞等)が取材、写真撮影等を行うことが予想されます。大会プログラム等に氏名、性別、障害区分等を掲載することになります。以上のことに同意の上お申し込みください。
また、平成31年10月12日(土)から14日(月)に開催される第19回全国障害者スポーツ大会(いきいき茨城ゆめ大会)の選考会も兼ねているため、参加希望の有無欄に必ず記入をしてください。

第19回全国障害者スポーツ大会(いきいき茨城ゆめ大会)参加希望の有無 ※希望有りでも記録等により必ず参加できるとは限りません。	有 ・ 無
--	-------

フリガナ					性別	男 ・ 女	年齢 区分	
氏名								
生年月日	S・H	年	月	日	生(年齢 歳)			
住所 (電話番号)	〒							
障害の分類	知的	肢体	視覚	聴覚	障害区分番号 ※身体障害の方のみ 記入			
障害名 ※身体障害の方 のみ記入	(手帳に記載されている内容を記入)							
補装具の 使用状況	有	無	※有の場合()					
水泳競技 出場種目	①							
	②							
スタート方法	入水 ・ 飛び込み							
備考								

水泳競技用

提出期限:平成30年6月30日(土)

第35回県民スポーツ祭 群馬県障害者スポーツ大会2018 参加申込書(団体申込用)

大会当日、報道関係(テレビ・新聞等)が取材、写真撮影等をすることが予想されます。大会プログラム等に氏名、性別、障害区分を掲載することになります。以上のことに同意の上お申込みください。また、平成31年10月12日(土)から14日(月)に開催される第19回全国障害者スポーツ大会(いきいき茨城ゆめ大会)の選考会も兼ねているため、参加希望の有無欄に必ず記入をしてください。

※該当箇所に○を記入してください。(男女別、知的障害、身体障害別に作成してください。)

知的障害の部(男・女)	所属	申込責任者
身体障害の部(男・女)	住所 〒	電話
	E-mail	FAX

NO.	フリガナ	性別	生年月日	年齢 区分	※身体障害の方のみ記入 障害区分番号 障害名(手帳に記載されている内容を記入)(身体)	出場種目 ※デモンストレーションは不要	リレ (知的)	第19回全国大会 参加希望の有無 ※希望有でも必ず参加 できるとは限りません	スタート方法 ※どちらかに○
	氏名	年齢							
1		男・女	S・H 年			①		有・無	入水
		歳	月 日						②
2		男・女	S・H 年			①		有・無	入水
		歳	月 日						②
3		男・女	S・H 年			①		有・無	入水
		歳	月 日						②
4		男・女	S・H 年			①		有・無	入水
		歳	月 日						②
5		男・女	S・H 年			①		有・無	入水
		歳	月 日						②

知的障害の部（男・女）	所属	申込責任者
身体障害の部（男・女）	住所 〒	電話
	E-mail	FAX

NO.	フリガナ 氏名	性別 年齢	生年月日	年齢 区分	※身体障害の方のみ記入 障害名(手帳に記載されている内容を記入)	障害区分 番号 (身体)	出場種目		リレ (知的)	第19回全国大会 参加希望の有無 ※希望有でも必ず参加 できるとは限りません	スタート方法 ※どちらかに○
							※デモンストレーションは不要				
6		男・女 歳	S・H 年				①			有・無	入水
			月 日				②				飛び込み
7		男・女 歳	S・H 年				①			有・無	入水
			月 日				②				飛び込み
8		男・女 歳	S・H 年				①			有・無	入水
			月 日				②				飛び込み
9		男・女 歳	S・H 年				①			有・無	入水
			月 日				②				飛び込み
10		男・女 歳	S・H 年				①			有・無	入水
			月 日				②				飛び込み
11		男・女 歳	S・H 年				①			有・無	入水
			月 日				②				飛び込み
12		男・女 歳	S・H 年				①			有・無	入水
			月 日				②				飛び込み
13		男・女 歳	S・H 年				①			有・無	入水
			月 日				②				飛び込み

卓球競技用

所属名	
作成者	
連絡先	

提出期限:平成30年5月26日(土)

第35回県民スポーツ祭 群馬県障害者スポーツ大会2018参加申込書(個人申込用)

大会当日、報道関係(テレビ・新聞等)が取材、写真撮影等を行うことが予想されます。大会プログラム等に氏名、性別、障害区分等を掲載することになります。以上のことに同意の上お申し込みください。

また、平成31年10月12日(土)から14日(月)に開催される第19回全国障害者スポーツ大会(いきいき茨城ゆめ大会)の選考会も兼ねているため、参加希望の有無欄に必ず記入をしてください。

第19回全国障害者スポーツ大会(いきいき茨城ゆめ大会)参加希望の有無
※希望有りでも記録等により必ず参加できるとは限りません。

有 ・ 無

フリガナ					性別	男 ・ 女	年齢 区分	
氏名								
生年月日	S・H	年	月	日	生(年齢 歳)			
住所 (電話番号)	〒							
障害の分類	知的	肢体	視覚	聴覚	精神	障害区分番号 ※身体障害の方のみ 記入		
障害名 ※身体障害の方 のみ記入	(手帳に記載されている内容を記入)							
補装具の 使用状況	有	無	※有の場合()					
卓球競技	出場種目 ※いずれか 1種目に○		卓球					
			サウンドテーブルテニス					
備考								

卓球競技用

提出期限:平成30年5月26日(土)

第35回県民スポーツ祭 群馬県障害者スポーツ大会2018 参加申込書(団体申込用)

大会当日、報道関係(テレビ・新聞等)が取材、写真撮影等をすることが予想されます。大会プログラム等に氏名、性別、障害区分を掲載することになります。以上のことに同意の上お申込みください。また、平成31年10月12日(土)から14日(月)に開催される第19回全国障害者スポーツ大会(いきいき茨城ゆめ大会)の選考会も兼ねているため、参加希望の有無欄に必ず記入をしてください。

※該当箇所には○を記入してください。(男女別、知的障害・身体障害別に作成してください。)

知的障害の部(男・女)	所属	申込責任者
身体障害の部(男・女)	住所	電話
※身体障害の部でサウンドテーブルテニスに出場する方は、備考欄に記入してください。	E-mail	FAX

NO.	フリガナ 氏名	性別 年齢	生年月日	年齢 区分	※身体障害の方のみ記入 障害名(手帳に記載されている内容を記入)	障害区分番号 (身体)	第19回全国大会 参加希望の有無 ※希望有でも必ず参加できるとは限りません	備考
1		男・女 歳	S・H 年 月 日				有・無	
2		男・女 歳	S・H 年 月 日				有・無	
3		男・女 歳	S・H 年 月 日				有・無	
4		男・女 歳	S・H 年 月 日				有・無	
5		男・女 歳	S・H 年 月 日				有・無	

知的障害の部（男・女）	所属	申込責任者
身体障害の部（男・女）	住所 <small>〒</small>	電話
※身体障害の部でサウンドテーブルテニスに出場する方は、備考欄に記入してください。	E-mail	FAX

NO.	フリガナ 氏名	性別 年齢	生年月日	年齢 区分	※身体障害の方のみ記入 障害名(手帳に記載されている内容を記入)	障害区分番号 (身体)	第19回全国大会 参加希望の有無 <small>※希望有でも必ず参加できるとは限りません</small>	備考
6		男・女 歳	S・H 年 月 日				有・無	
7		男・女 歳	S・H 年 月 日				有・無	
8		男・女 歳	S・H 年 月 日				有・無	
9		男・女 歳	S・H 年 月 日				有・無	
10		男・女 歳	S・H 年 月 日				有・無	
11		男・女 歳	S・H 年 月 日				有・無	
12		男・女 歳	S・H 年 月 日				有・無	
13		男・女 歳	S・H 年 月 日				有・無	

フライングディスク競技用

第35回県民スポーツ祭 群馬県障害者スポーツ大会2018 参加申込書(団体申込用)

大会当日、報道関係(テレビ・新聞等)が取材、写真撮影等をすることが予想されます。大会プログラム等に氏名、性別、障害区分を掲載することになります。以上のことに同意の上お申込みください。また、平成31年10月12日(土)から14日(月)に開催される第19回全国障害者スポーツ大会(いきいき茨城ゆめ大会)の選考会も兼ねているため、参加希望の有無欄に必ず記入をしてください。

※該当箇所に○を記入してください。(男女別、知的障害、身体障害別に作成してください。)

知的障害の部(男・女)	所属	申込責任者
身体障害の部(男・女)	住所 〒	電話
	E-mail	FAX

NO.	フリガナ 氏名	性別 年齢	生年月日	年齢 区分	障害の分類		出場種目	第19回全国大会 参加希望の有無 <small>※希望有でも必ず参加 できるとは限りません</small>	備考
					競技区分	右投・左投			
1		男・女 歳	S・H 年 月 日		知的・肢体・視覚・聴覚・内部	①		有・無	
					立位・座位	右投・左投			
2		男・女 歳	S・H 年 月 日		知的・肢体・視覚・聴覚・内部	①		有・無	
					立位・座位	右投・左投			
3		男・女 歳	S・H 年 月 日		知的・肢体・視覚・聴覚・内部	①		有・無	
					立位・座位	右投・左投			
4		男・女 歳	S・H 年 月 日		知的・肢体・視覚・聴覚・内部	①		有・無	
					立位・座位	右投・左投			
5		男・女 歳	S・H 年 月 日		知的・肢体・視覚・聴覚・内部	①		有・無	
					立位・座位	右投・左投			

知的障害の部（男・女）	所属	申込責任者
身体障害の部（男・女）	住所 〒	電話
	E-mail	FAX

NO.	フリガナ 氏名	性別 年齢	生年月日	年齢 区分	障害の分類		出場種目	第19回全国大会 参加希望の有無 ※希望有でも必ず参加 できるとは限りません	備考
					競技区分	右投・左投			
6		男・女 歳	S・H 年 月 日		知的・肢体・視覚・聴覚・内部	①		有・無	
					立位・座位	右投・左投			
7		男・女 歳	S・H 年 月 日		知的・肢体・視覚・聴覚・内部	①		有・無	
					立位・座位	右投・左投			
8		男・女 歳	S・H 年 月 日		知的・肢体・視覚・聴覚・内部	①		有・無	
					立位・座位	右投・左投			
9		男・女 歳	S・H 年 月 日		知的・肢体・視覚・聴覚・内部	①		有・無	
					立位・座位	右投・左投			
10		男・女 歳	S・H 年 月 日		知的・肢体・視覚・聴覚・内部	①		有・無	
					立位・座位	右投・左投			
11		男・女 歳	S・H 年 月 日		知的・肢体・視覚・聴覚・内部	①		有・無	
					立位・座位	右投・左投			
12		男・女 歳	S・H 年 月 日		知的・肢体・視覚・聴覚・内部	①		有・無	
					立位・座位	右投・左投			
13		男・女 歳	S・H 年 月 日		知的・肢体・視覚・聴覚・内部	①		有・無	
					立位・座位	右投・左投			

フライングディスク競技用

第35回県民スポーツ祭 群馬県障害者スポーツ大会2018 参加申込書(団体申込用)

大会当日、報道関係(テレビ・新聞等)が取材、写真撮影等をすることが予想されます。大会プログラム等に氏名、性別、障害区分を掲載することになります。以上のことに同意の上お申込みください。また、平成31年10月12日(土)から14日(月)に開催される第19回全国障害者スポーツ大会(いきいき茨城ゆめ大会)の選考会も兼ねているため、参加希望の有無欄に必ず記入をしてください。

※該当箇所に○を記入してください。(男女別、知的障害、身体障害別に作成してください。)

知的障害の部(男・女)	所属	申込責任者
身体障害の部(男・女)	住所 〒	電話
	E-mail	FAX

NO.	フリガナ 氏名	性別 年齢	生年月日 年 月 日	年齢 区分	障害の分類		出場種目	第19回全国大会 参加希望の有無 <small>※希望有でも必ず参加 できるとは限りません</small>	備考
					競技区分	右投・左投			
1		男・女 歳	S・H 年 月 日		知的・肢体・視覚・聴覚・内部	立位・座位	①	有・無	
						右投・左投	②		
2		男・女 歳	S・H 年 月 日		知的・肢体・視覚・聴覚・内部	立位・座位	①	有・無	
						右投・左投	②		
3		男・女 歳	S・H 年 月 日		知的・肢体・視覚・聴覚・内部	立位・座位	①	有・無	
						右投・左投	②		
4		男・女 歳	S・H 年 月 日		知的・肢体・視覚・聴覚・内部	立位・座位	①	有・無	
						右投・左投	②		
5		男・女 歳	S・H 年 月 日		知的・肢体・視覚・聴覚・内部	立位・座位	①	有・無	
						右投・左投	②		

知的障害の部（男・女）	所属	申込責任者
身体障害の部（男・女）	住所 〒	電話
	E-mail	FAX

NO.	フリガナ 氏名	性別 年齢	生年月日	年齢 区分	障害の分類		出場種目	第19回全国大会 参加希望の有無 ※希望有でも必ず参加 できるとは限りません	備考
					競技区分	右投・左投			
6		男・女 歳	S・H 年 月 日		知的・肢体・視覚・聴覚・内部	①		有・無	
					立位・座位	右投・左投			
7		男・女 歳	S・H 年 月 日		知的・肢体・視覚・聴覚・内部	①		有・無	
					立位・座位	右投・左投			
8		男・女 歳	S・H 年 月 日		知的・肢体・視覚・聴覚・内部	①		有・無	
					立位・座位	右投・左投			
9		男・女 歳	S・H 年 月 日		知的・肢体・視覚・聴覚・内部	①		有・無	
					立位・座位	右投・左投			
10		男・女 歳	S・H 年 月 日		知的・肢体・視覚・聴覚・内部	①		有・無	
					立位・座位	右投・左投			
11		男・女 歳	S・H 年 月 日		知的・肢体・視覚・聴覚・内部	①		有・無	
					立位・座位	右投・左投			
12		男・女 歳	S・H 年 月 日		知的・肢体・視覚・聴覚・内部	①		有・無	
					立位・座位	右投・左投			
13		男・女 歳	S・H 年 月 日		知的・肢体・視覚・聴覚・内部	①		有・無	
					立位・座位	右投・左投			

ボウリング競技用
【知的障害の部】

所属名	
作成者	
連絡先	

提出期限：平成30年5月26日(土)

第35回県民スポーツ祭
群馬県障害者スポーツ大会2018参加申込書(個人申込用)

大会当日、報道関係(テレビ・新聞等)が取材、写真撮影等を行うことが予想されます。大会プログラム等に氏名、性別障害区分等を掲載することになります。以上のことに同意の上お申し込みください。
また、平成31年10月12日(土)から14日(月)に開催される第19回全国障害者スポーツ大会(いきいき茨城ゆめ大会)の選考会も兼ねているため、参加希望の有無欄に必ず記入をしてください。

第19回全国障害者スポーツ大会(いきいき茨城ゆめ大会)参加希望の有無 ※希望有りでも記録等により必ず参加できるとは限りません。	有 ・ 無
--	-------

フリガナ			
氏 名			性 別 男 女
生年月日	S · H	年	月 日 生 (年齢 歳)
住 所 (電話番号)	〒		
年齢分類	幼年	少年	青年 壮年
	※幼年:6歳(小学1年)~12歳 少年:13歳(中学1年)~19歳 青年:20歳~35歳 壮年:36歳以上		
備考			

ボウリング競技用【知的障害の部】

第35回県民スポーツ祭 群馬県障害者スポーツ大会2018 参加申込書(団体申込用)

大会当日、報道関係(テレビ・新聞等)が取材、写真撮影等をすることが予想されます。大会プログラム等に氏名、性別、障害区分を掲載することになります。以上のことに同意の上お申込みください。また、平成31年10月12日(土)から14日(月)に開催される第19回全国障害者スポーツ大会(いきいき茨城ゆめ大会)の選考会も兼ねているため、参加希望の有無欄に必ず記入をしてください。

※男女別に作成してください。

ボウリング競技 男 ・ 女	所属	申込責任者
	住所 〒	電話
	E-mail	FAX

NO.	フリガナ 氏名	性別 年齢	生年月日	年齢分類				第19回全国大会 参加希望の有無 <small>※希望有でも必ず参加 できるとは限りません</small>	備考
				※幼年:6歳(小学1年)~12歳	少年:13歳(中学1年)~19歳	青年:20歳~35歳	壮年:36歳以上		
1		男・女 歳	S・H 年 月 日	幼年	少年	青年	壮年	有・無	
2		男・女 歳	S・H 年 月 日	幼年	少年	青年	壮年	有・無	
3		男・女 歳	S・H 年 月 日	幼年	少年	青年	壮年	有・無	
4		男・女 歳	S・H 年 月 日	幼年	少年	青年	壮年	有・無	
5		男・女 歳	S・H 年 月 日	幼年	少年	青年	壮年	有・無	

ボウリング競技 男 ・ 女	所属	申込責任者
	住所 <small>〒</small>	電話
	E-mail	FAX

NO.	フリガナ 氏名	性別 年齢	生年月日 S・H 年 月 日	年齢分類				第19回全国大会 参加希望の有無 <small>※希望有でも必ず参加 できるとは限りません</small>	備考
				※幼年:6歳(小学1年)~12歳 青年:20歳~35歳	少年:13歳(中学1年)~19歳	青年	壮年		
6		男・女 歳	S・H 年 月 日	幼年	少年	青年	壮年	有・無	
7		男・女 歳	S・H 年 月 日	幼年	少年	青年	壮年	有・無	
8		男・女 歳	S・H 年 月 日	幼年	少年	青年	壮年	有・無	
9		男・女 歳	S・H 年 月 日	幼年	少年	青年	壮年	有・無	
10		男・女 歳	S・H 年 月 日	幼年	少年	青年	壮年	有・無	
11		男・女 歳	S・H 年 月 日	幼年	少年	青年	壮年	有・無	
12		男・女 歳	S・H 年 月 日	幼年	少年	青年	壮年	有・無	
13		男・女 歳	S・H 年 月 日	幼年	少年	青年	壮年	有・無	

アーチェリー競技用
【身体障害の部】

所属名	
作成者	
連絡先	

提出期限：平成30年6月8日(金)

第35回県民スポーツ祭
群馬県障害者スポーツ大会2018参加申込書(個人申込用)

大会当日、報道関係(テレビ・新聞等)が取材、写真撮影等を行うことが予想されます。大会プログラム等に氏名、性別、障害区分等を掲載することになります。以上のことに同意の上お申し込みください。
また、平成31年10月12日(土)から14日(月)に開催される第19回全国障害者スポーツ大会(いきいき茨城ゆめ大会)の選考会も兼ねているため、参加希望の有無欄に必ず記入をしてください。

第19回全国障害者スポーツ大会(いきいき茨城ゆめ大会)参加希望の有無 ※希望有りでも記録等により必ず参加できるとは限りません。	有 ・ 無
--	-------

フリガナ					
氏名		性別	男 ・ 女	年齢 区分	
生年月日	S・H	年	月	日生(年齢 歳)	
住所 (電話番号)	〒				
障害の分類	肢体 内部(ぼうこう又は直腸機能障害)	聴覚	障害区分番号		
障害名 ※身体障害の方のみ記入	(手帳に記載されている内容を記入)				
補装具の使用状況	有	無	※有の場合()		
アーチェリー 競技	出場種目 ※いずれか 1種目に○		1) 50・30m(リカーブ)		
			2) 30mダブル(リカーブ)		
			3) オープン		
			4) 50・30m(コンパウンド)		
			5) 30mダブル(コンパウンド)		
備考					

アーチェリー競技用【身体障害の部】

提出期限:平成30年6月8日(金)

第35回県民スポーツ祭 群馬県障害者スポーツ大会2018 参加申込書(団体申込用)

大会当日、報道関係(テレビ・新聞等)が取材、写真撮影等をすることが予想されます。大会プログラム等に氏名、性別、障害区分を掲載することになります。以上のことに同意の上お申込みください。また、平成31年10月12日(土)から14日(月)に開催される第19回全国障害者スポーツ大会(いきいき茨城ゆめ大会)の選考会も兼ねているため、参加希望の有無欄に必ず記入をしてください。

※該当箇所に○を記入してください。

アーチェリー競技	所属	申込責任者
	住所 〒	電話
	E-mail	FAX

NO.	フリガナ 氏名	性別 年齢	生年月日	年齢 区分	障害名(手帳に記載されている内容を記入)	障害区分番号 (身体)	出場種目	第19回全国大会 参加希望の有無 <small>※希望有でも必ず参加 できるとは限りません</small>	備考
1		男・女 歳	S・H 年 月 日					有・無	
2		男・女 歳	S・H 年 月 日					有・無	
3		男・女 歳	S・H 年 月 日					有・無	
4		男・女 歳	S・H 年 月 日					有・無	
5		男・女 歳	S・H 年 月 日					有・無	

団体競技用【知的障害の部】

第35回県民スポーツ祭 群馬県障害者スポーツ大会2018 参加申込書

大会当日、報道関係(テレビ・新聞等)が取材、写真撮影等をすることが予想されます。また、大会プログラム等に氏名、性別、障害区分を掲載することになります。

以上のことに同意のうえお申込ください。

※いずれかに○を記入してください。(バスケットボール競技は男女別に作成してください。)

フットベースボール競技 提出期限:6月30日(土)	所属	申込責任者
バスケットボール競技(男子・女子) 提出期限:7月8日(日)	住所 〒	電話
ソフトボール競技 提出期限:5月26日(土)	E-mail	FAX
サッカー競技 提出期限:6月30日(土)		

NO.	フリガナ	性別	生年月日		※フットベースボールのみ職員は○を記入
	氏名	年齢	年	月 日	
1		男・女	S・H	年	
		歳	月	日	
2		男・女	S・H	年	
		歳	月	日	
3		男・女	S・H	年	
		歳	月	日	
4		男・女	S・H	年	
		歳	月	日	
5		男・女	S・H	年	
		歳	月	日	

NO.	フリガナ	性別	生年月日		※フットベースボールのみ職員は○を記入
	氏名	年齢	年	月 日	
6		男・女	S・H	年	
		歳	月	日	
7		男・女	S・H	年	
		歳	月	日	
8		男・女	S・H	年	
		歳	月	日	
9		男・女	S・H	年	
		歳	月	日	
10		男・女	S・H	年	
		歳	月	日	

フットベースボール競技 提出期限:6月30日(土)	所属	申込責任者
バスケットボール競技(男子・女子) 提出期限:7月8日(日)	住所 〒	電話
ソフトボール競技 提出期限:5月26日(土)	E-mail	FAX
サッカー競技 提出期限:6月30日(土)		

NO.	フリガナ	性別	生年月日		※フットベース ボールのみ職 員は○を記入
	氏名	年齢	年	月 日	
11		男・女	S・H	年	
		歳	月	日	
12		男・女	S・H	年	
		歳	月	日	
13		男・女	S・H	年	
		歳	月	日	
14		男・女	S・H	年	
		歳	月	日	
15		男・女	S・H	年	
		歳	月	日	
16		男・女	S・H	年	
		歳	月	日	
17		男・女	S・H	年	
		歳	月	日	
18		男・女	S・H	年	
		歳	月	日	

NO.	フリガナ	性別	生年月日		※フットベース ボールのみ職 員は○を記入
	氏名	年齢	年	月 日	
19		男・女	S・H	年	
		歳	月	日	
20		男・女	S・H	年	
		歳	月	日	
21		男・女	S・H	年	
		歳	月	日	
22		男・女	S・H	年	
		歳	月	日	
23		男・女	S・H	年	
		歳	月	日	
24		男・女	S・H	年	
		歳	月	日	
25		男・女	S・H	年	
		歳	月	日	
26		男・女	S・H	年	
		歳	月	日	

第35回県民スポーツ祭 群馬県障害者スポーツ大会2018 参加申込書

大会当日、報道関係(テレビ・新聞等)が取材、写真撮影等をすることが予想されます。また、大会プログラム等に氏名、性別、障害区分を掲載する場合があります。以上のことに同意のうえお申込ください。

団体名	申込責任者
住所	電話番号
チーム名	FAX
	E-mail

NO.	フリガナ 氏名	性別 年齢	生年月日	手帳の有無	手帳交付番号
監督		男・女 歳	S・H 年 月 日	有・無	
コーチ		男・女 歳	S・H 年 月 日	有・無	
1 (キャプ テン)		男・女 歳	S・H 年 月 日	有・無	
2		男・女 歳	S・H 年 月 日	有・無	
3		男・女 歳	S・H 年 月 日	有・無	
4		男・女 歳	S・H 年 月 日	有・無	
5		男・女 歳	S・H 年 月 日	有・無	
6		男・女 歳	S・H 年 月 日	有・無	
7		男・女 歳	S・H 年 月 日	有・無	
8		男・女 歳	S・H 年 月 日	有・無	
9		男・女 歳	S・H 年 月 日	有・無	
10		男・女 歳	S・H 年 月 日	有・無	
11		男・女 歳	S・H 年 月 日	有・無	
12		男・女 歳	S・H 年 月 日	有・無	
補助者		男・女 歳	S・H 年 月 日	有・無	
補助者		男・女 歳	S・H 年 月 日	有・無	

フライングディスク競技用

所属名	
作成者	
連絡先	

提出期限:平成30年6月8日(金)

第35回県民スポーツ祭 群馬県障害者スポーツ大会2018参加申込書(個人申込用)

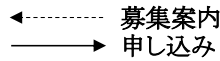
大会当日、報道関係(テレビ・新聞等)が取材、写真撮影等を行うことが予想されます。大会プログラム等に氏名、性別障害区分等を掲載することになります。以上のことに同意の上お申し込みください。
また、平成31年10月12日(土)から14日(月)に開催される第19回全国障害者スポーツ大会(いきいき茨城ゆめ大会)の選考会も兼ねているため、参加希望の有無欄に必ず記入をしてください。

第19回全国障害者スポーツ大会(いきいき茨城ゆめ大会)参加希望の有無 ※希望有りでも記録等により必ず参加できるとは限りません。	有 ・ 無
--	-------

フリガナ				
氏 名		性 別	男 ・ 女	年 齢 区 分
生年月日	S · H	年	月	日 生 (年齢 歳)
住 所 (電話番号)	〒			
障害の分類	知的	肢体	視覚	聴覚
	内部(ぼうこう又は直腸機能障害)			障害区分番号 ※身体障害の方のみ 記入
障 害 名 ※身体障害の方 のみ記入	(手帳に記載されている内容を記入)			
補 装 具 の 使 用 状 況	有	無	※有の場合()	
F D 競 技	競技区分	立位 ・ 座位		
		右投 ・ 左投		
	出場種目	ディスタンス ・ アクセラシー		
備考				

「申し込みの流れ」

※提出先は群馬県障害者スポーツ協会です。



指定された期日までにご提出ください。



群馬県障害者スポーツ協会

問い合わせ先

群馬県障害者スポーツ協会事務局
 〒379-2214 伊勢崎市下触町238-3 群馬県立ふれあいスポーツプラザ内
 TEL 0270-63-2600
 FAX 0270-61-8009
 E-mail:gunma. id. sports@zb. wakwak. com

群馬県障害者スポーツ協会 事務局

〒379-2214 伊勢崎市下触町238-3

TEL 0270-63-2600

FAX 0270-61-8009

e-mail: gunma.id.sports@zb.wakwak.com